

平成30年度
東京都立埋蔵文化財調査センターの管理に関する協定
指定管理事業報告書

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
東京都埋蔵文化財センター

協定の名称

東京都立埋蔵文化財調査センターの管理に関する協定

期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

受託者

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

目次

1	平成30年度 収支状況決算書	-1-
2-1	平成30年度 基本方針等実施報告書	-2-
2-2	平成30年度 管理体制報告書	-3-
3-1	平成30年度 年間維持管理実施状況報告書1 (1 設備維持保全)	-4-
3-2	平成30年度 年間維持管理実施状況報告書2 (2 清掃及び樹木保護)	-5-
3-3	平成30年度 年間維持管理実施状況報告書3 (3 警備及び受付業務 4 復元住居展示公開業務)	-6-
3-4	平成30年度 維持管理修繕工事・改善工事等実績一覧	-7-
4-1	平成30年度 年間事業実施報告書その1 (1 埋蔵文化財センターの展示の取組 2 ICT化の推進 3 ユニバーサルデザイン化推進の取組 4 広報の推進 5 個人情報保護等の取組 6 収蔵・保管の計画 7 資料の貸し出し等)	-8-
4-2	平成30年度 年間事業実施報告書その2 (8 資料の展示・活用等 9 遺跡庭園の管理・公開)	-9-
4-3	平成30年度 年間事業実施報告書その3 (10 講演会等の企画事業(指定管理事業))	-10-
4-4	平成30年度 年間事業実施報告書その4 (11 考古学実習等の企画事業(自主事業1))	-11-
4-5	平成30年度 年間事業実施報告書その5 (12 考古学実習等の企画事業(自主事業2 連携事業))	-12-
4-6	平成30年度 年間事業実施報告書その6 (13 利用者サービス)	-13-
5	平成30年度 年間利用者数集計報告書	-14-
6-1	平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声1 (1 利用者の満足度と情報分析)	-15-
6-2	平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声2 (2 利用者満足度の詳細)	-16-
6-3	平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声3 (3 「お客様の声」を反映した取組)	-17-
6-4	平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声4 (4 お客様からこのようなご意見を多数いただきました。)	-18-

資料

資料1	平成30年度 出前授業一覧	(1)
資料2	平成30年度 職場体験・研修等受け入れ実績一覧	(2)
資料3	平成30年度 遺跡見学会実績一覧	(3)
資料4	平成30年度 資料等貸出一覧	(4)
資料5	平成30年度 主な掲載紙	(5)
資料6	平成30年度 財務諸表	(6)

平成30年度 収支状況決算書

指定管理者 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
理事長 並木 一夫

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

1 収入

項目	予算額 (a)	決算額 (b)	差引 (a-b)	内容
指定管理料	103,200,000	103,200,000	0	
光熱水費等	59,000	47,113	11,887	飲料自販機用電気代 ・販売実績の減
自販機収入	0	25,843	▲ 25,843	
収入計	103,259,000	103,272,956	▲ 13,956	

2 支出

項目	予算額 (a)	決算額 (b)	差引 (a-b)	内容	
管 理 運 営 費	職員費	28,159,000	27,885,180	273,820	常勤3名、契約1名
	報償費	78,000	684,191	▲ 606,191	講演会講師謝金、縄文ワクワク体験まつり補助
	旅費	94,000	184,506	▲ 90,506	館内旅費、出張旅費等
	一般需用費	2,170,000	2,116,531	53,469	広報消耗品費、庭園修繕費、印刷費、図書費等
	役務費	145,000	255,732	▲ 110,732	通信運搬費、保険料、手数料
	委託料	6,628,000	8,828,892	▲ 2,200,892	庭園維持管理委託費等 ・復元住居火焚き回数などの増
	工事請負費	0	0	0	庭園改善のための工事請負費
	備品購入費	200,000	0	200,000	什器類購入費
	租税公課	2,632,000	2,249,751	382,249	収入印紙、支払消費税等
	一般管理費	12,191,000	12,191,000	0	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団運営諸経費
管理運営費計	52,297,000	54,395,783	▲ 2,098,783		
施 設 管 理 費	光熱水費	12,925,000	13,644,241	▲ 719,241	光熱水費
	一般需用費	1,681,000	514,894	1,166,106	建物管理用消耗品費、建物関連修繕費
	役務費	273,000	111,527	161,473	手数料
	委託料	34,949,000	33,783,912	1,165,088	建物管理委託費等
	工事請負費	1,134,000	767,275	366,725	工事請負費
施設管理費計	50,962,000	48,821,849	2,140,151		
総事業経費支出合計	103,259,000	103,217,632	41,368		

3 収支

項目	収入 (a)	支出 (b)	差引 (a-b)
差引実績額	103,272,956	103,217,632	55,324

平成30年度 基本方針等実施報告書

当財団は、埋蔵文化財と地域開発の調和を図り、都民の文化的生活の向上と地域文化の振興を目的に、埋蔵文化財の研究・保存・公開活用及び知識の普及と東京都立埋蔵文化財調査センターの管理運営について、以下の3項目の基本方針に沿って実施しました。

1 発掘調査事業との一体的管理

方針	発掘調査の成果を都民に還元し、施設の効用を最大限発揮するため、事業団が行う調査事業と一体的に施設運営を行い、調査で出土した遺物等を展示・活用する。また、実際に調査に携わった調査研究員の専門知識・技術等を活用し、講演会・展示説明等の企画事業を実施していく。
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩ニュータウンの遺物を活用した通史展示とともに江戸遺跡発掘調査の成果を企画展示で活用 ○調査事業の成果を実際の発掘調査に携わる調査研究員が「遺跡発掘調査発表会」にて講演 ○発掘中の遺跡現場での見学会を、「文京区小日向一・二丁目南遺跡」、「日野市平山遺跡」等にて開催 ○発掘調査の速報展として「新宿区四谷一丁目南遺跡」の成果を「今月の逸品」で実施 ○「縄文ワクワク体験まつり」では現場の調査研究員が子供達に発掘や火おこしなどを指導 ○事業団が調査研究員を派遣している福島県復興支援事業の展示を実施

2 多様な企画事業の実施

方針	長年の運営実績をもとに、幅広い年齢層が楽しめる多彩な企画事業を実施する。また、利用者のご意見を的確に把握することにより企画事業の内容を絶えず改善する。併せて、小学校等の歴史教育を支援するため、分かりやすく楽しい体験型学習の充実を図る。
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ○東京島嶼部の調査成果を集めた企画展示「蒼海わたる人々-考古学から見たとうきょうの島々-」を実施 ○「縄文土器作り体験」「コハク勾玉作り体験」等親子で学べる体験教室を実施 ○大人も楽しめる「文化財講演会」や専門的な体験ができる「考古学実習」等を実施 ○夏休みの新企画として、夏休みワークショップ「縄文パクパクをつくろう！」を実施 ○「団体見学」、「出前授業」、「職場体験」等学校教育と連携した歴史教育支援を積極的に展開 ○区市教育委員会や多摩動物公園等と連携した事業により、埋蔵文化財に関する普及啓発を推進

3 適切な施設管理

方針	利用者が安全・快適に楽しく利用できるよう、こまめな修繕やユニバーサルデザイン化を推進し、施設環境の維持・改善に努める。また、職員の定期的な防災訓練や研修並びに個人情報保護の徹底等により、利用者の安全を守る。
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都施行の東京都立埋蔵文化財調査センター(30)外壁その他改修工事に全面協力 ○非常灯の取替や排水口修繕等、老朽化した設備の修繕工事を迅速・適切に実施 ○展示照明の増設や看板の移設等の施設改善工事を実施 ○トイレ内の手すり設置や遺跡庭園通路の段差解消工事などユニバーサルデザイン化を推進 ○写真付き道案内ページの作成など利用サービス向上のための取り組みを実施 ○QRコードを活用した英文解説など多言語化推進のための取り組みを実施 ○体験教室におけるインターネット申込を完全実施 ○インターネット申込受付手続に個人情報自動削除機能等を設けて、個人情報保護対策を徹底 ○災害時の安全対策として、大地震を想定した防災訓練等を実施

平成30年度 管理体制報告書

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

1 管理体制について

東京都立埋蔵文化財調査センターの設置目的及び公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の使命に則り、事業団が実施する発掘調査事業との一体的な運営を図って、体制作りをいたしました。

2 職員配置表

職員種別	人数	職名等	備考
埋蔵文化財及び史跡に関する知識を有する職員(調査研究員)	3名	指定管理業務担当職員	展示及び広報事業の企画・実施
施設維持管理業務担当職員(事務職員)	1名		建物維持管理業務、契約、経理等
受付・警備・清掃・遺跡庭園管理担当の人員	16名	委託業者	受付・警備、清掃、庭園管理 清掃と庭園管理を1名ずつ増
設備維持業務に関する知識と資格を持つ人員	2名		設備に関する有資格者

指定管理業務を行う職員の他に、補助金対象の調査研究員等を監督職としました。
また、企画事業については調査研究部の職員も協力し、調査事業と一体となった運営を行いました。

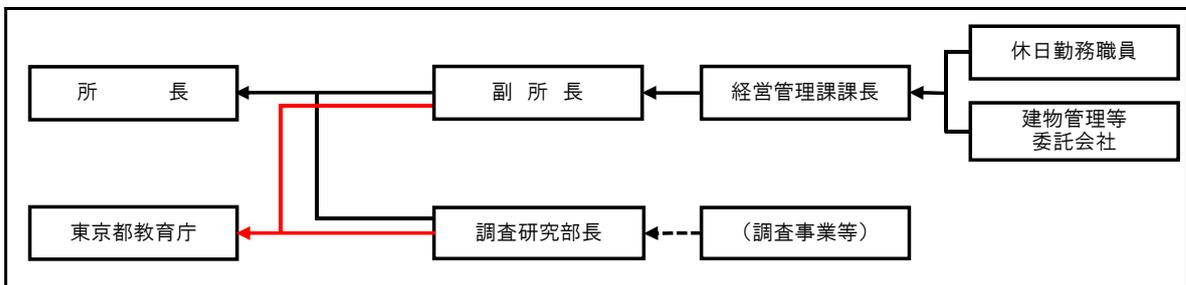
3 平成30年度研修実施一覧表

職員の資質向上を図るため、数多くの研修・講習を受講させました。

研修内容	研修機関	参加者数
新任職員育成リーダー養成研修	株式会社ハトス	15名
同上フォローアップ研修		15名
主任研修・主任昇任者研修	(一財)東京都人材支援事業団	4名
クレーム対応研修等		延33名
救急救命講習	多摩消防署	13名
メンタルヘルス(セルフケア)研修	当事業団主催	12名
調査研究業務新人実践研修(初年度研修 7科目)		延92名
個人情報保護研修		68名
接遇研修		16名
埋蔵文化財専門知識・技術等向上研修等(年4回)		延86名
文化財担当者専門研修(遺跡情報記録課程等)	(独法)奈良文化財研究所	4名
全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会	全国埋蔵文化財法人連絡協議会	4名
全国埋蔵文化財法人連絡協議会OA委員会研修会		4名
全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック研修会	同上 関東ブロック加盟法人	11名
区市町村教育委員会埋蔵文化財担当者研修	東京都教育庁	1名
汚職非行防止研修	東京都教職員研修センター	17名

4 緊急連絡網等

下記のとおり、平成30年度緊急連絡網を整備し、体制を整えました。



緊急時には、上記連絡網により副所長又は調査研究部長から東京都教育庁へ連絡する体制をとり、台風被害状況など迅速に連絡いたしました。また、台風による倒木被害発生時には業者任せにせず、職員自らが迅速に対応することで、翌日午後には開園いたしました。

上記のほかに、震災等を想定した避難訓練(年1回)、自営消防隊による避難訓練(年1回)、祝休日の管理体制を想定した避難訓練(年4回)を行いました。

また、利用者や職員の緊急時に備えて、AEDを用いた救急救命訓練(年1回)を行いました。

指定管理業務に携わる職員と委託先の職員は、救命技能認定証を取得しています。

5 苦情等の処理

大きな苦情はありませんでした。アンケートにあった休憩用の椅子が少ないというご意見については、お客様が休憩しながらゆっくり展示見学をできるよう増設しました。

平成30年度 年間維持管理実施状況報告書1

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

1 設備維持保全

分類	業務項目	運転	監視	日常	定期	実施状況月等
1 電気設備	(1) 電気設備	○	○	○		通年実施
	ア 電気設備検査等(法定検査)				年1回	5月実施
	イ 電気設備検査等(主任技術者)				月1回	毎月実施
	ウ 電気設備検査等(自主点検)				月1回	毎月実施
	(2) 電話設備	○	○	○		通年実施
	電話設備点検等				年2回	4・10月実施
(3) 電球交換		○	○		通年実施	
(4) 拡声装置	○	○	○		通年実施	
(5) 電気時計・トイレ呼出設備	○	○	○		通年実施	
(6) 避雷設備		○	○		通年実施	
2 機械設備	(1) 冷凍機	○	○	○		通年実施
	冷凍機点検等				年3回	5・7・10月実施
	(2) 冷却塔設備	○	○	○		通年実施
	(3) 空調設備	○	○	○		通年実施
	ア 自動制御機器点検等				年2回	5・10月実施
	イ 空気調和機点検等				年2回	5・10月実施
	(4) 給排水衛生関係	○	○	○		通年実施
	(5) 熱源設備関係	○	○	○		通年実施
	(6) 第一種圧力容器	○	○	○		通年実施
	ア 第一種圧力容器点検等(法定検査)				年1回	法定検査 5月実施
	イ 第一種圧力容器点検等(法定自主検査)				月1回	自主点検 毎月実施
	(7) エレベーター	○	○	○		通年実施
	エレベーター保守点検等				月1回	毎月実施
(8) 各種ポンプ設備	○	○	○		通年実施	
(9) 貯湯塔	○	○	○		通年実施	
(10) タンク設備	○	○	○		通年実施	
(11) 各種設備	○	○	○		通年実施	
ア 建築基準法12条関連(法定点検)				年1回	2月実施	
イ 各種設備点検等計測(定期点検)				年2回	7・12月実施	
(12) 作業場空気環境		○	○		通年実施	
作業場空気環境測定				年6回	5・7・9・11・1・3月実施	
(13) 汚水槽		○	○		通年実施	
汚水槽清掃				年3回	年4・7・11月実施	
3 防災設備	(1) 消防設備	○	○	○		通年実施
	ア 消防設備点検等(外観機能点検)				年1回	7月実施
	イ 消防設備点検等(総合点検)				年1回	1月実施
ウ 消防設備点検等(自主点検)				年2回	4・10月実施	
4 建築設備	(1) 建築土木全般点検				月1回	毎月実施
	建築土木全般点検(1級建築士)				年1回	2月実施
	(2) 自動ドア		○			通年実施
自動ドア点検等				年1回	9月実施	
(3) 自動シャッター		○			通年実施	
自動シャッター保守点検等				年1回	4月実施	
5 その他	(1) 警備受付業務			○		通年実施
	(2) 警報機器点検				月1回	毎月実施
	(3) 害虫駆除殺菌消毒				年2回	4・10月実施

上記のほかに、維持管理修繕工事・改善工事等を臨時休館することなく、合計14件実施しました。
(P7 3-4参照)

平成30年度 年間維持管理実施状況報告書2

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

2 清掃及び樹木保護

分類	業務内容	実施計画基準	実施状況月等
1 清掃	(1) 館内清掃		
	ア 日常清掃		
	① 2階便所・建物側庭園	休館日を除く毎日 (年間359日)	359日実施
	② 展示ホール等都民対応部分	休館日と展示ホール休館日 を除く毎日(年間330日)	330日実施
	③ エレベータ等	休館日・土・日、休日を 除く毎日(年間245日)	246日実施
	④ 事務室・水洗室等	休館日、休日を 除く月・水・金(年間144日)	144日実施
	⑤ 廊下・階段等	休館日、休日を 除く月・木(年間92日)	93日実施
	⑥ 休養室、バルコニー等	休館日、休日を 除く火(年間51日)	51日実施
	⑦ 隣接地落葉清掃	1月・12月の休館日、 休日を 除く月・水・金(年間22日)	22日実施
	イ 定期清掃		
	① 2階展示ホール、コンコース		
	床面清掃	月1回	毎月実施
	② 事務室、会議室等		
	床面清掃	年4回(4・7・10・1月)	4・7・10・1月実施
	第1・第2収蔵庫清掃	年2回(4・10月)	4・10月実施
	特別収蔵庫	年1回(10月)	10月実施
	窓ガラス清掃	年2回(4・10月)	4・10月実施
	サントラップ及びポンプピット清掃	年3回(4・7・11月)	4・7・11月実施
	(2) 特別清掃		
	ア 照明器具清掃	年1回(9月)	9月実施
	イ 各種フィルター等清掃	年1回(6月)	6月実施
	ウ 吹出口・吸込口清掃	年2回(5・11月)	5・11月実施
	エ 送風機清掃	年2回(5・11月)	5・11月実施
	オ クーリングタワー清掃	年2回(5・10月)	5・10月実施
	カ 各種水槽等清掃	年1回(5月)	6月実施
	キ マット交換清掃	年3回(4・7・11月)	4・7・11月実施
	ク 便所用品	適宜補充	適宜実施
(3) 遺跡庭園「縄文の村」清掃管理			
ア 日常清掃			
庭園ゴミ清掃、便所等水洗清掃、復元住居掃 き清掃等	土・日・休日・年末年始を除く 毎日(年間244日)	244日実施	
イ 特別清掃			
① 金属磨き	月1回	毎月実施	
② 復元住居等スス払い	月1回	毎月実施	
③ 便所壁面等水洗清掃	月1回	毎月実施	
④ 南側U字溝清掃	年3回(7・11・12月)	7・11・12月実施	
⑤ 東側U字溝清掃	週1回(10月～12月)	10月～12月週1回実施	
	適時実施 (4月～9月/1月～3月)	対象月(落葉時期は毎週)実施	
2 樹木保護等	(1) 遺跡庭園害虫駆除	年12回(4月～10月)	4・5・6・7・8・9・10月実施 ※6月以降は月2回実施
	(2) 小庭園除草	年2回(5・9月)	5・9月実施
	(3) 遺跡庭園草刈	年3回(5・8・10月)	5・8・10月実施
	(4) 遺跡庭園枝の剪定	年5回(4・7・10・1・3月)	4・7・10・1・3月実施
	(5) 遺跡庭園刈込	年2回(6・2月)	6・2月実施

平成30年度 年間維持管理実施状況報告書3

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

3 警備及び受付業務

業務実施計画		実施状況
1 年間実施日数		
359日(年末年始休館を除く)		計画どおり実施しました。
2 警備業務		
(1) 日常警備業務		
ア 門扉の開閉 (午前9時30分と午後5時 通用門は午前7時45分と午後9時)		計画どおり実施しました。 ※1
イ 館内の巡回と侵入者の監視及び排除 (午前8時から午後9時まで)		計画どおり実施しました。 侵入者等排除の事例はありませんでした。
ウ 「遺跡庭園」及び「流れの広場」の巡回点検 (午前11時と午後3時)		計画どおり実施しました。不法・けん騒行為、業務妨害行為等の物的・人的な危険・異常は発生しませんでした。
エ 出入口・窓等の施錠の確認 (退所時)		計画どおり実施しました。
オ 室内の火気等の安全確認 (退所時)		計画どおり実施しました。
カ 所内及び施設全域における1時間毎の巡回点検 (土・日・休日のみ)		計画どおり実施しました。
(2) その他の警備業務		
ア 非常事態発生時の警戒と応援		非常事態は発生しませんでした。
イ 近隣の火災・暴風雨時の警戒・連絡		事案は発生しませんでした。
ウ 電話対応及び非常時の通報		非常事態は発生しませんでした。
3 受付業務		
(1) 正面玄関の受付		
ア 受付業務 (午前9時15分から午後5時15分まで)	利用者の受付と簡単な案内	計画どおり実施しました。
	展示ホール、特別収蔵庫、コンコース(エントランスホール)の展示物監視	計画どおり実施しました。
	チラシ等資料の配布とアンケート協力依頼	計画どおり実施しました。
	体験コーナーの整備等	計画どおり実施しました。
	展示ホールの入口扉の開錠及び施錠	計画どおり実施しました。 ※1
イ 外線電話への対応と非常通報(土・日・休日のみ)		非常事態は発生しませんでした。
(2) 職員通用口の受付		
ア 受付業務 (平日:午前8時から午後9時まで) (土・日・休日:午前8時10分から午後5時40分まで)	地階職員通用口の受付、来館者の受付	計画どおり実施しました。
イ 鍵の管理		台帳により適切に管理しました。

※1 早めに来館された利用者には、開館時間を早めるなど柔軟に対応いたしました。

4 復元住居展示公開業務

業務実施計画		実施状況
1 年間公開日数		
316日(年末年始休館を除く)		316日実施しました。 ※2
2 業務の詳細		
(1) 復元住居での火焚き		事故無く、計画どおり実施しました。
(2) 縄文時代の復元生活用具等の復元住居内への展示及び管理		計画どおり実施しました。
(3) 復元住居見学者への対応及び簡単な説明		計画どおりに実施しました。
(4) 供給する薪用材の加工整備と薪置場の整備		庭園内の樹木剪定の発生材を加工し、薪として再利用しました。
(5) 業務に要する道具の整備		計画どおり実施しました。

※2 復元住居での火焚き日数を前年度の239日間から316日間に大幅に増やし、以前よりもより多くの方に復元住居に入っただき、当時の住居を体感していただく機会を増やしました。

平成30年度 維持管理修繕工事・改善工事等実績一覧

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

平成30年度の維持管理修繕工事や改善工事等の実績は、下記のとおりです。

1 維持管理修繕工事・改善工事

区分	件名	内容等	目的・原因等
維持管理修繕工事	1 非常用照明等の交換修繕工事	動作不良設備の交換	経年劣化による修繕
	2 3階廊下非常灯取替修繕工事	動作不良設備の交換	
	3 2階会議室空調温度調節器取替修繕工事	動作不良設備の交換	
	4 冷却塔私設量水器交換工事	動作不良設備の交換	
	5 誰でもトイレ排水口修繕工事	破損個所の修繕	
	6 会議室前窓下枠補修工事	破損個所の修繕	
	7 遺跡庭園ロープ柵修繕工事	破損箇所の修繕	
	8 遺跡庭園枯損木処理	遺跡庭園内通路付近の枯損木の剪定等	安全対策
	9 台風21号による倒木及び折れ枝処理	台風による倒木被害の緊急伐採等	
改善工事	1 3階トイレ扉設置工事	トイレ出入りに扉を新設	ユニバーサルデザイン化の推進
	2 2F男女トイレ個室手摺設置及び外階段入口手摺延長工事	個室に手摺りを新設	
	3 遺跡庭園通路整備工事	水はけ改善と段差の解消	
	4 屋外看板移動工事	1階看板を道路側に移設	施設の認知度向上のための工事
	5 遺跡庭園内竹伐採その他作業	竹の伐採及び「しがら柵」の設置	遺跡庭園内の環境整備

2 その他の改善内容等

区分	件名	内容等	目的・原因等
その他の改善内容等	1 つまづき防止テープの設置	遺跡庭園入口の段差に視認性の高いテープを新設	「お客様の声」に応えた利用者の利便性・安全性向上
	2 滑り止めスプレーの塗布	1階ピロティ床のすべり止め処理	
	3 蓄光テープの設置	外階段に夕方でも視認性の高い蓄光型の滑り止めテープを設置	
	4 車椅子の追加	利用者貸出用車椅子の追加	
	5 映像コーナー用椅子の更新	映像コーナーの椅子を1人掛けから2人掛けに更新	
	6 丸太椅子の設置	遺跡庭園に伐採木を活用した丸太椅子を新設	
	7 ペダル式ゴミ箱の設置	オムツ替え用のゴミ箱を足踏み型に更新	
	8 便座クリーナーの設置	2階展示エリアのトイレに便座クリーナーを新設	
	9 体験コーナー用踏み台の設置	体験コーナーに子供用の踏み台を新設	
	10 老眼鏡の設置	2階展示エリアに老眼鏡を増設	
	11 空調調節ファンの設置	空調機の送風口に風量調節ファンを新設	
	12 写真付き道案内の製作・公開	駅からの写真付き道案内を作成し、ホームページ上に公開	
	13 書籍リスト等の公開	閲覧コーナーの一般書籍や調査報告書のリストをホームページ上に公開	
	14 解説冊子等の公開	企画展示の解説冊子等をホームページ上に公開	
	15 垂れ幕等の製作	都庁展示の写真撮影スポット用に垂れ幕を製作	施設の認知度向上
	16 縄文服の製作	都庁展示の写真撮影スポット用に縄文服を製作	
	17 クリアフォルダの製作	アンケート粗品用クリアフォルダを製作	
	18 広報用ノベルティの製作	広報用トートバッグを製作	
	19 ピクト表示板の設置	授乳室用ピクトグラムサインの新設	ユニバーサルデザイン化の推進

平成30年度 年間事業実施報告書

施設名 東京都立埋蔵文化財調査センター

1 埋蔵文化財センターの展示の取組

【常設展示】

- ・「多摩を発掘する」と題し、多摩ニュータウン遺跡の発掘調査成果の一般公開を継続しました。
- ・「お客様の声」を反映し、縄文時代の石器の展示を新装いたしました。

【企画展示】

・「蒼海(うみ)わたる人々-考古学から見たとうきょうの島々-」と題し、都内の埋蔵文化財発掘調査を実施する事業団の強みを生かし、都内初の試みとして東京島嶼部の調査成果を企画展として一般公開しました。

【利用者数】

- ・東京都立埋蔵文化財調査センター(30)外壁その他改修工事に伴い、12月10日から28日まで臨時休館しましたが、26,500人の目標数を上回る、28,465名の方に利用していただきました。

2 ICT化の推進

【インターネットによる参加申込の取組】

- ・体験教室等の申込方法について、インターネット申込を全ての事業で実施しました。その結果、申込数が定員を上回り抽選となった事業が、平成28年度13件、平成29年度18件だったところ、平成30年度は20件に増加しました。

【QRコードを活用した取組】

- ・QRコードを活用して、スマートフォンなどで英語の解説をご覧になれるよういたしました。

3 ユニバーサルデザイン化推進の取組

【館内における取組】

- ・トイレの個室や外階段へ手摺りを増設したほか、見えづらい段差や階段へ視認性の高いテープを設置するなど、高齢者や足の不自由な方でも安全に施設を利用できるよう改善いたしました。
- ・体験コーナーへの子供用踏み台の設置、映像コーナーの椅子の改善、会議室のファン設置等により、より快適に展示を楽しめる環境整備に取り組みました。

【遺跡庭園における取組】

- ・園内通路の舗装区間の拡大や、庭園内の伐採木を活用した丸太椅子を設置して休憩場所を確保するなど、だれもが安全かつ快適に庭園を見学できるよう整備しました。

4 広報の推進

【広報活動の取組】

- ・新聞一般紙、広報東京都、東京都教育委員会ホームページ、多摩地区を中心とした地元タウン誌等に対して、施設案内や、体験教室などの情報掲載依頼を積極的に行ったほか、新たな試みとして、毎日小学生新聞、メロガイドなども積極的に活用して認知度の向上を図りました。
- ・都庁などの観光案内所にセンターの案内や企画展示のパンフレットなどを設置したほか、都庁1階で東京都立埋蔵文化財調査センターの展示を行い、施設の認知度アップに努めました。
- ・東京都公式動画チャンネルの『東京地下「お宝」発掘』に職員が出演し施設の紹介を行いました。
- ・中学生に向けた取り組みとして、多摩地域を中心とした中学校に向けて見学や職場体験などの案内を送付し、認知度向上と中学生の利用促進を図りました。

5 個人情報保護等の取組

【無料Wi-Fiのセキュリティー対策の実施】

- ・Wi-Fi利用者への個人情報漏えい事故防止対策を徹底しました。

【イベント申込のセキュリティー対策】

- ・インターネット申込に係るデータのセキュリティー管理のほか、ハガキやデータベースの保管管理も徹底しました。

【研修の強化】

- ・初任者研修では個人情報保護に関する研修も実施したほか、所属職員の悉皆研修としても実施いたしました。
- ・お客様と触れる機会が多い職員には、接客研修を行いました。

6 収蔵・保管の計画

	計 画	実 績
(1)	調査研究員(学芸研究)の専門知識・技術等を活用しながら、東京都埋蔵文化財センター業務実施要綱に基づき、指定文化財をはじめとする出土品等の保管管理を適切に行う。 出土品の保管・管理を効率的にするために出土品の整理を行う。	東京都埋蔵文化財センター業務実施要綱に基づき、保管管理を行いました。 都民の財産である出土品については、独自のデータベースを用いて保管・管理しました。
(2)	日常的な保管・管理では、収蔵庫は必ず施錠し、鍵は担当部署において管理を厳重に行う。	管理簿を備えて厳重に施錠管理しました。

7 資料の貸し出し等

	計 画	実 績
(1)	東京都埋蔵文化財センター業務実施要綱に基づき、資料の貸し出し等に対応する。	東京都埋蔵文化財センター業務実施要綱に基づき、資料を貸し出しました。(44件)
(2)	貸し出し等にあたっては、利用目的を精査しつつ、利用者の要望に応え、調査研究員が専門知識に基づき、詳しい説明や適切なアドバイスを行う。	利用目的を精査し、調査研究員が専門知識に基づき、資料についての詳しい説明や適切なアドバイスを行いました。

8 資料の展示・活用等

事業名	対象	計画	実績
常設展示	一般	・年間330日公開 ・常設展示 「多摩を発掘する」	・年間330日公開しました。※ ・常設展示は、多摩ニュータウン遺跡の遺物を活用した通史展示を行い、旧石器時代から近世にかけての約3万年の歴史を分かりやすく展示しました。また、一部展示替えを行いました。
企画展示		・企画展示 「蒼海(うみ)渡る人々 -考古学から見たときよの島々-」	・企画展示では、東京の島々の考古遺物を初めて展示しました。本土との交流や島の祭祀などを紹介した展示は、好評を博しました。
通路展示		・多摩ニュータウン遺跡以外の特色ある遺跡の出土品を展示 ・福島県復興支援事業の成果を展示	多摩ニュータウン遺跡以外の特色ある遺跡(江戸遺跡等)の出土品を展示しました。福島県復興支援事業の紹介を行いました。
今月の逸品		・リピーターに向けて、毎月展示替えを行うコーナー ・選りすぐりの遺物や調査成果の速報などを展示	利島・大石山遺跡の縄文土器、多摩ニュータウンNo.248・245遺跡間で接合した打製石斧、四谷一丁目遺跡の泥面子、多摩ニュータウンNo.72遺跡の縄文土器等を展示しました。
特別収蔵庫		収蔵品のうち、展示ホールだけでは公開できない、特に優れた遺物を、特別収蔵庫に収め、ガラス越しに見ることができるように展示	もっと奥までよく見たいという、ご要望にお応えして、照明を増設いたしました。
展示解説		団体利用に際し、要望に応え調査研究員が解説する。 計画人数:10,000名	延べ9,659名の団体利用者に対し、調査研究員が解説いたしました。
ビデオ・資料コーナー設置		来場者の自由閲覧	図書コーナーの蔵書リストをホームページに掲載しました。 ビデオコーナーの椅子を二人掛けに変更し、より快適にご覧いただけるようにいたしました。

※ 東京都立埋蔵文化財調査センター(30)外壁その他改修工事に伴い、平成30年12月10日から、平成30年12月28日までの19日間、臨時休館

☆ 英語を併記した解説パネルや企画展示解説パンフレットを作成したほか、QRコードを活用した英語版解説など、外国人利用者に対して東京の遺跡・遺物の魅力を分かりやすく伝えるように取り組みました。

9 遺跡庭園の管理・公開

行事名	対象	計画	実績
遺跡庭園「縄文の村」公開	一般	年間359日公開	年間359日公開しました。
復元住居での火焚き実演		縄文の暮らしの様子を実感する。 年間316日程度実施	大幅増とした計画どおり年間316日実施しました。 年間12,032名の一般利用者が復元住居を見学しました。
庭園案内		団体利用に際して要望に応え、調査研究員が園内を案内する。 計画人数:10,000名	延べ9,659名の団体利用者に対し、調査研究員が園内を案内しました。
土器の野焼き		年2回、縄文土器の野焼きを行う。	年間3回実施し、参加者は82名でした。
火起こし体験	小・中学生	団体利用に際し、要望に応え調査研究員が実施する。 計画回数:年20回 計画人数:900名	団体利用者の要望に応え、年16回1,113名を対象に実施しました。

☆ 庭園の公開や火焚き実演に際して、調査研究員が委託業者にレクチャーを行い、質の向上に努めました。

☆ 復元住居での火焚き日数を前年度の239日間から316日間に大幅に増やし、より多くの方に縄文時代の住居を体感していただく機会を増やしました。

10 講演会等の企画事業(指定管理事業)

行事名	対象	計画				実績			
		人数	回数	期間	曜日	参加者	お客様の声他		
講演会・イベント等	文化財講演会	一般	各100名	①	6月30日	(土)	149名	『弥生人 島へ渡る 宝を求めて』 杉山 浩平氏(東京大学特任研究員)	
				②	9月29日	(土)	135名	『動物が語る伊豆諸島と本州縄文人の交流史』 山崎 京美氏(いわき短期大学教授)	
				③	11月23日	(金/祝)	138名	『神座す島々ー伊豆諸島の祭祀遺跡ー』 内川 隆志氏(國學院大学教授)	
				④	2月6日	(水)	94名	『国史跡下布田遺跡の発掘調査と今後の整備について』 長瀬 出氏(調布市郷土博物館学芸員)	
				⑤	2月13日	(水)	120名	『東京国立博物館・特別展「縄文(Jomon)」の舞台裏』 井上 洋一氏(東京国立博物館副館長)	
				⑥	2月23日	(土)	111名	『国史跡八王子城跡の発掘調査と整備』 村山 修氏(八王子市教育委員会文化財課)	
ト	縄文ワクワク体験まつり	親子・一般	参加自由	①	5月3日	(木/祝)	662名	◇先生はじめスタッフ皆様が親切に教えていただき感謝しております。ありがとうございました。	
				②	5月4日	(金/祝)	1109名		
	展示説明会	一般	参加自由	①	3月21日	(木/祝)	41名	◇こういう切り口の展示は面白かった。 ◇丁寧な解説が分かりやすかったです。	
等	縄文土器作り教室	親子	各15組(30名)	①	7月21日	(土)	37名	◇ただ作品をつくるのではなく、土器のことを教えていただけたり、実際に縄文土器が作られていたところと同じ土で作れるということを知り、子どもも大変驚いて喜んでいました。 ◇こんなに本格的な土器を作らせてもらえてうれしいです。 ◇一から本格的な土器作りができてうれしかったです。 ◇当時と同じようにやるのがよかったです。 ◇縄文人になったかのような心豊かな時を過ごしました。 ◇じっくりと作ることができ、縄文時代の背景や生活環境などを知ることができた。 ◇実際に縄文時代の粘土、本物を見て作れたところがよかったです。 ◇実際に土器を持ち帰れるうれしさ。	
				②	7月22日	(日)	28名		
				①②	8月11日	(土)	60名		
		一般	25名	③	9月1日	(土)	20名		
				③	9月2日	(日)	20名		
				③	9月22日	(土)	22名		
	古代勾玉作り教室	親子	15組(30名)	①	8月15日	(水)	25名	◇自分で石を選び、的確なアドバイスがあり、分かりやすかった。 ◇都度、親切に教えていただきました。ありがとうございました。	
	コ	ハク勾玉作り教室	一般	各20名	①	6月2日	(土)	19名	◇分からないところで聞く、見せるなどの注意が受けられ、良かった。 ◇楽しく、勉強にもなりました。ありがとうございました。 ◇集中して作業ができ、すてきな勾玉が仕上がりました。
					②	10月6日	(土)	20名	
	縄文アクセサリー作り教室(耳飾・勾玉)	親子	15組(30名)	各30名	②	8月22日	(水)	30名	◇楽しくでき、うれしく思います。ありがとうございました。 ◇夏休みにとてもいい行事でした。また参加したいです。 ◇石の表情が変わるところが楽しかった。 ◇とてもたのしく歴史を学べた。
					①	7月7日	(土)	16名	
		③	1月26日	(土)	12名				
古代の布作り教室	親子	15組(30名)	②	7月25日	(水)	10名	◇いろいろ教えていただき、ありがとうございました。 ◇実際に手にふれられるのが良い。 ◇難しいというところは確実にサポートしていただけたのでわかりやすかった。		
	一般	30名	①	5月12日	(土)	20名			
古代の糸作り教室	一般	20名	1	6月16日	(土)	20名	◇すばらしい体験ができました。 ◇繊維をとるところから一連の工程がわかってよかったです。		
縄文の貝輪作り教室	一般	15名	1	9月8日	(土)	11名	◇貝輪を作る機会はめったにないのでとても面白かったです。 ◇実際に手を動かすことで知識が深まった。		
江戸の泥めんこ作り	親子	8組(16名)	1	8月15日	(水)	10名	◇泥面子をつくれたこと、もらったことがうれしかった。		
ト	ンボ玉作り教室	一般	1日4回 各回6名	①	5月26日	(土)	22名	◇講義も興味深く聞かせていただきました。無料の行事というのもありがたいです。 ◇丁寧にサポートしていただき、とても楽しく参加できました。 ◇ガラスの歴史が知れて面白かった。 ◇とても興味のあった事でしたので、参加出来て嬉しかったです。	
				②	9月15日	(土)	23名		
				③	2月2日	(土)	25名		
土偶作り教室	親子	15組(30名)	①	7月25日	(水)	28名	◇やりはじめると集中してしまいます。縄文時代の人も同じ気持ちかもしれないと想像しました。 ◇古人の線や模様、形のつくりかた、身をもって体験でき、やってみて初めて理解できた。		
	一般	30名	②	11月17日	(土)	23名			
◆夏休みワークショップ「縄文パクパクを作ろう！」(幼児～小学校低学年向け)	親子	15組(30名)	①	8月4日	(土)	10名	◇小さい子でも楽しめるパクパクはすごく良かったです。 ◇パクパクで縄文時代の事がわかりやすく知れてよかったです。 ◇子ども(低学年と幼児)も一緒に楽しめた。		
	親子	15組(30名)	②			22名			
ビデオ上映	小中学生	団体利用に際し、年間50回程度実施				44回			

* 「一般」とは中学生以上をいう。 ◆は新規事業 ◇はお客様の声
このほか、アンケートではインターネット申込が大変好評でした。

11 考古学実習等の企画事業(自主事業)

行事名	対象	計画				実績		
		人数	回数	期間	曜日	参加者	お客様の声他	
発表会等	遺跡発掘調査発表会	一般	100名	①	3月21日	(木/祝)	122名	◇入口での応接、椅子の使用方法的説明も優秀 ◇机があるのが良かったです。 ◇とても素人にも分かりやすかった
	遺跡庭園であったまろう!	親子・一般	自由参加	①	12月9日	(日)	187名	遺跡庭園で縄文時代の雰囲気を感じながら、火おこしやくるみ割り、たき火などを楽しんでいただきました。
体	火おこし道具作り教室	親子	15組 (30名)	①	8月22日	(水)	30名	◇使ったことのない道具を作るというのはとても面白かったです。 ◇自分の道具で火が起きると、とてもうれしかったです。 ◇自分でも火がおこせた!という喜びを味わえました。
	縄文食体験	一般	20名	①	10月20日	(土)	21名	◇内容がとても濃くて、たくさんの経験ができた。 ◇体験料理のみならず、試食がフルコース並みで感動しました。すべておいしかったです。ごちそうさまでした。 ◇縄文時代の道具で調理できて貴重な経験ができた。
親子		10組 (20名)	②	10月21日	(日)	21名	◇調理するときに、できるだけ石器など縄文時代の道具を使っていた。	
験	考古学実習① -土器拓本・断面図-	一般	10名	①	10月13日	(土)	7名	◇なかなか経験できない内容で、とても集中しました。専門的な話がきけました。 ◇知識も経験も豊富な方達で、とてもためになるお話がきけました。
	考古学実習② -石器の作り方-	一般	10名	①	11月3日	(土)	10名	◇縄文時代の技術力を身にしみて感じました。 ◇もう一度参加したくなるような行事でした。剥片を見る目が変わりました。
教	考古学実習③ -石器観察・実測-	一般	10名	①	11月10日	(土)	10名	◇石器の部位名称など、基礎から学ぶことができた。 ◇すごく勉強になりました。作り方が少しわかりました。古代の人々はすごいと思いました。食べていくことがとても健気すぎて、感動の連続でした。
	考古学実習④ -カマド・古代食体験-	親子・一般	20名	①	12月1日	(土)	16名	◇人生で体験できないことができた。 ◇カマドの構造・作り方の「ナゾ」が学べた。 ◇人が食べて生きていくこと、一人では生きていけなかったことが具体的に理解でき、感動させていただいた。
室	自然観察会	一般	各20名	①	4月14日	(土)	5名	◇植物の奥深さに驚きました。 ◇よく勉強になった。
				②	10月6日	(土)	14名	
等	映像上映会	親子・一般	自由参加	①	1月19日	(土)	63名	企画展「蒼海わたる人々」に関連し「チェチェメ二号の冒険」を上映しました。帝京大学のチャモロ文化研究グループによる講話・カヌーをテーマにしたチャモロダンスも実演
	考古学相談室	小中学生・一般	—	通年(土日は除く)			学芸員が利用者のご質問に随時お答えいたしました。	
	夏休み自由課題相談室	小中学生	—	夏休み期間中(土日は除く)			小中学生の相談には授業の進捗などに合わせて分かりやすい説明を心がけました。	

* 「一般」とは中学生以上をいう。

◇はお客様の声

12 考古学実習等の企画事業(自主事業2 連携事業)

	行 事 名	対 象	計 画				実 績	
			人数	回数	期間	曜日	参加者	連 携 団 体 等
外	首都圏財団間事業 公開セミナー	一 般	200名	年1回	1月20日	(日)	153名	公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 公益財団法人かながわ考古学財団
	区市町等連携事業	事業による	各20名		年25回		950名	町田市、文京区、多摩市、北区、港区、大島町等
部	「東京150年」事業 文化財講演会	一 般	120名	—	5月13日	(日)	68名	多摩市教育委員会
	「発掘された日本列島展2018」 見学会		20名	—	6月27日	(水)	15名	
	東京文化財ウィーク2018企画事業「文化財巡り～多摩市と周辺の文化財探訪～」		20名	—	11月9日	(金)	20名	
	文京区子ども考古学教室	小学生	—	—	7月31日	(火)	43名	文京区教育委員会
	「本気でつくる 町田の縄文土器制作と野焼き体験」第2回	一 般	—	—	6月26日	(火)	16名	町田市教育委員会
	「本気でつくる 町田の縄文土器制作と野焼き体験」第3回		—	—	6月27日	(水)	16名	
	「本気でつくる 町田の縄文土器制作と野焼き体験」第4回		—	—	11月7日	(水)	25名	
	港区立港郷土資料館土曜体験教室第1回(勾玉作り)	小学生	各回12名	—	7月14日	(土)	17名	港区教育委員会
	港区立港郷土資料館土曜体験教室第2回(耳飾作り)			—	8月25日	(土)	20名	
	港区立港郷土資料館土曜体験教室第3回(拓本と裏打ち体験)			—	12月8日	(土)	7名	
港区立港郷土資料館土曜体験教室第4回(勾玉作り)	—			3月30日	(土)	18名		
港区立港郷土資料館夏休み体験ミュージアム	小中学生・親子	15名	—	8月3日	(金)	21名	港区教育委員会	
北区飛鳥山博物館 夏休みわくわくミュージアム2018「夏休み縄文人なりきり体験教室①②」	小中学生・親子	各回30名	—	8月8日	(水)	57名	北区飛鳥山博物館	
東京都社会教育課長会文化財部会 埋蔵文化財担当者連絡会報告会	一 般	自由参加	—	11月16日	(金)	34名	町田市教育委員会・多摩市教育委員会・稲城市教育委員会	
東京文化財ウィーク2018企画事業「講演会」	一 般	自由参加	—	11月23日	(金)	41名	八丈町教育委員会 東京都教育庁八丈出張所	
東京文化財ウィーク2018企画事業「講演会」	一 般	自由参加	—	11月4日	(日)	40名	三宅村教育委員会 東京都教育庁三宅出張所	
東京文化財ウィーク2018企画事業「勾玉作り」	親子・一般	20名	—	11月25日	(日)	18名	大島町教育委員会 東京都教育庁大島出張所	
「縄文時代の生活を体験しよう！」 ①勾玉作り	小中高生	各20名	—	7月26日	(木)	20名	公益財団法人多摩市文化振興財団	
「縄文時代の生活を体験しよう！」 ②編布作り			—	8月9日	(木)	18名		
「親子で学ぼう！人間と動物のつながり-縄文人のくらしを探る-」	親子	15組(30名)	—	8月18日	(土)	21名	公益財団法人東京動物園協会 多摩動物公園	
縄文人がやってきた	親子	—	—	1月12日	(土)	260名		
町田市ひなた村個人向け縄文体験事業「縄文のアクセサリー作り」 ①②	小中学生	各回20名	—	8月18日	(土)	16名	町田市子ども生活部児童青少年課ひなた村	
町田市ひなた村個人向け縄文体験事業「縄文土器作り」第1回	親子	12組 24名	—	12月16日	(日)	6名		
町田市ひなた村個人向け縄文体験事業「縄文土器作り」第2回			—	1月27日	(日)	3名		
シンポジウム「東京の旧石器—3万年前、環境と人々の暮らし—」	一 般	—	—	9月1日	(土)	130名	府中市郷土の森博物館	
出前授業 (火おこし体験・勾玉作り等)	都内小・中学校等	各50名		年12回		551名	7校8回実施しました。	
遺跡見学会 (地元対応ミニ見学会含む)	一 般	各100名		年8回		973名	施行者と調整しながら、6回実施しました。	

* 「一般」とは中学生以上をいう。

□は新規連携先

13 利用者サービス

事業名	内容	設置場所等	規模等
清涼飲料水の販売	自動販売機で清涼飲料水を利用者に提供	1階	1台
利用者サービス向上の物品調達等	QRコードを利用した英文解説の作成	展示エリア	8箇所
	滑り止めスプレーの散布	1階 ピロティ床	約30㎡
	つまづき防止テープの設置	遺跡庭園入口段差	1か所
	蓄光テープの設置	入口外階段	1か所
	車椅子の設置(更新)	1階 廊下	2台
	ペダル式汚物入れ設置	2階 だれでもトイレ	1か所
	便座クリーナーの設置	2階 各トイレ	4か所
	椅子の更新	2階 映像コーナー	1人掛けを2人掛けに
	子供用踏み台の設置	2階 体験コーナー	1台
	遺跡庭園への椅子の設置	遺跡庭園	8脚
	老眼鏡の設置	2階 展示エリア	5か所
	空調調節ファンの設置	2階会議室 地階実習室	10台
	縄文服の製作	2階 体験コーナー	5着
ホームページの改善	各イベントの申込すべてをWEB申込可能に	ホームページ	全てのイベントがWEBで申し込めます
	分かりやすい道案内ページの新設	ホームページ	写真付きの道案内
	優れた展示品を解説するページの新設	ホームページ	多摩のビーナス、土面など優品の解説
	今月の逸品ページの新設	ホームページ	毎月更新する「今月の逸品」を紹介
	各種のデータをダウンロード可能に	ホームページ	展示解説冊子、図書リスト、講演会資料、パンフレット類など

平成30年度 年間利用者数集計報告書

1 期 間

平成30年4月1日（日）から平成31年3月31日（日）まで

開館日数：330日間

※ 東京都立埋蔵文化財調査センター（30）外壁その他改修工事に伴い、平成30年12月10日から、平成30年12月28日までの間は臨時休館

2 利用者数

28,465名（当年度累計）

3 前年度との比較

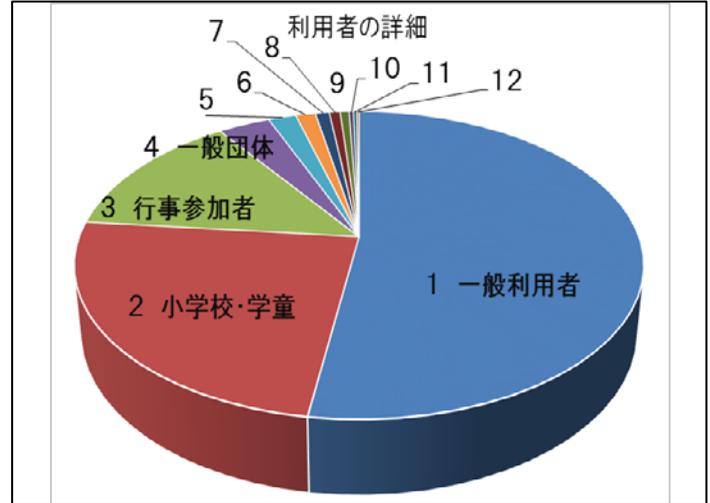
項 目	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
開館日数	330日	350日	-20日	平成30年度は都施行工事に伴う計画減
利用者数	28,465人	28,039人	426人	目標数は26,500人

4 利用者の構成

一般利用者		団体利用者		行事参加者	
人 数	比率	人 数	比率	人 数	比率
14,917人	52.4%	9,656人	33.9%	3,892人	13.7%

5 利用者の詳細

	利用者の種別	利用者数	構成比率
1	一般利用者	14,917人	52.4%
2	団体：小学校・学童	6,892人	24.2%
3	団体：行事参加者	3,892人	13.7%
4	団体：一般団体	1,005人	3.5%
5	団体：大学	535人	1.9%
6	団体：中学校	381人	1.3%
7	団体：幼稚園・保育園	268人	0.9%
8	団体：教員その他	209人	0.7%
9	団体：養護施設等	174人	0.6%
10	団体：高校・専門学校	82人	0.3%
11	団体：メディア等	67人	0.2%
12	団体：特別支援学校等	43人	0.2%
	合 計	28,465人	100.0%



6 利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平成23年度	5,726人	5,852人	2,134人	1,568人	1,861人	1,093人
平成24年度	5,326人	6,258人	2,328人	1,619人	2,238人	1,000人
平成25年度	5,288人	6,510人	2,625人	1,926人	2,106人	1,224人
平成26年度	4,619人	6,494人	2,793人	1,575人	2,518人	1,891人
平成27年度	5,358人	6,003人	2,211人	1,637人	2,662人	1,580人
平成28年度	5,026人	6,003人	2,390人	1,573人	2,070人	1,508人
平成29年度	5,117人	6,720人	2,317人	1,799人	2,266人	1,557人
平成30年度	4,922人	6,130人	2,407人	2,114人	2,772人	1,936人
前年度対比	△195人	△590人	90人	315人	506人	379人

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成23年度	2,133人	1,372人	2,330人	987人	1,252人	908人	27,216人
平成24年度	1,566人	1,444人	2,070人	1,085人	1,285人	1,213人	27,432人
平成25年度	1,251人	1,450人	1,363人	1,234人	1,325人	1,223人	27,525人
平成26年度	1,366人	2,168人	1,312人	1,125人	1,476人	1,355人	28,692人
平成27年度	1,810人	2,531人	1,128人	1,015人	1,738人	1,325人	28,998人
平成28年度	1,599人	2,336人	1,451人	1,113人	1,673人	1,365人	28,107人
平成29年度	1,275人	1,588人	1,461人	1,080人	1,619人	1,240人	28,039人
平成30年度	1,846人	1,732人	767人	1,131人	1,597人	1,111人	28,465人
前年度対比	571人	144人	△694人	51人	△22人	△129人	426人

平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声 1

積極的にアンケート協力の依頼を行った結果、一般利用者4,717名、イベント参加者1,493名、学校見学50校から回答をいただきました。

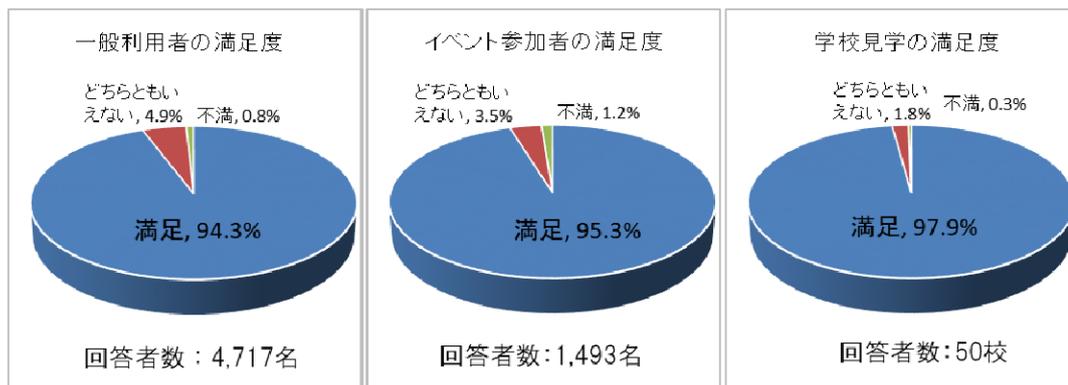
一般利用者のアンケートについては、より多くの回答を得るため職員による声掛けなどを徹底した結果、平成29年度の回答者数2,959名を大きく上回りました。

また、いただいたご意見などについては、担当部署で直ちに検討し、可能なものから順次改善を行いました。アンケートについては、実施と分析を継続して、より質の高い事業の展開に活用してまいります。

1 利用者の満足度と情報分析

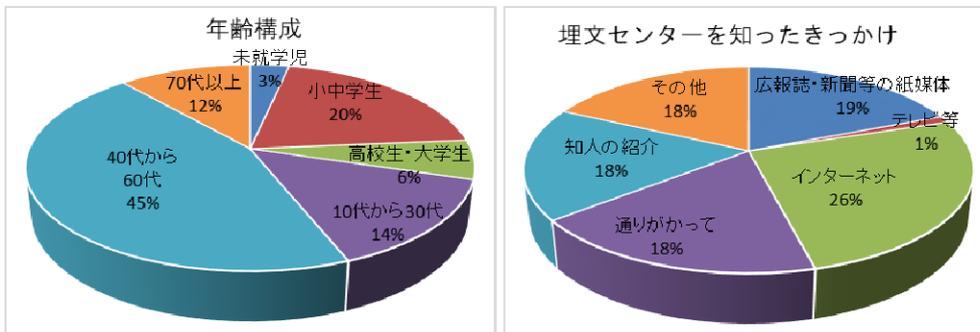
(1) アンケート対象別の満足度

いずれの調査においても、昨年度に引き続き90%を超える満足度を継続いたしました。



(2) 利用者の情報

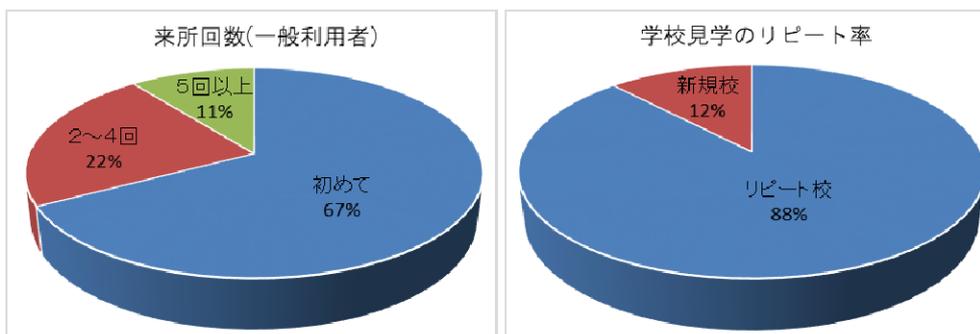
様々な項目のデータを収集し、事業運営の参考にいたしました。



・「インターネットで知った」という利用者が年々増加していることから、写真付きの道案内ページの新設や、すぐれた展示品を解説する項目の追加のほか、展示解説冊子、図書リスト、講演会資料、各種のパンフレット類をダウンロード可能にするなど、様々なホームページの改善を行いました。

・すべての行事でイベントのインターネット申込を実現いたしました。

・こうした改善の結果、利便性を大きく向上させることができました。



・リピート率をさらに向上させるため、「今月の逸品」コーナーを用いて毎月展示替えを行ったほか、常設展の縄文時代の石器について刷新するなど、様々な工夫をいたしました。

・QRコードを利用して、英語の解説をご覧いただけるよう多言語化も推進いたしました。

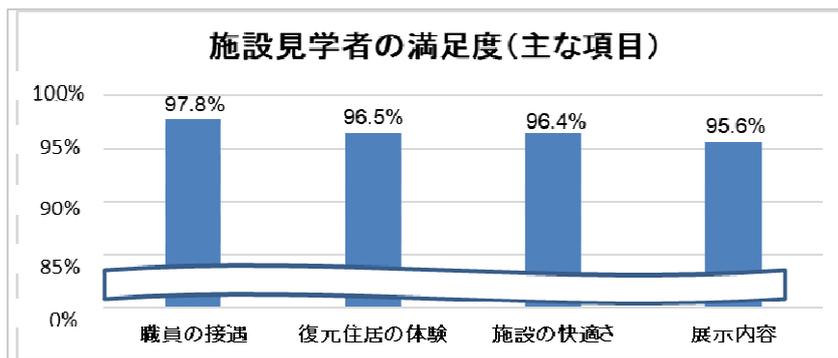
・展示替えにあたっては、英語を併記したパネルや解説冊子も作成いたしました。

・学校見学のリピート率は継続して高く、満足度の高さを実感しています。

平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声2

2 利用者満足度の詳細

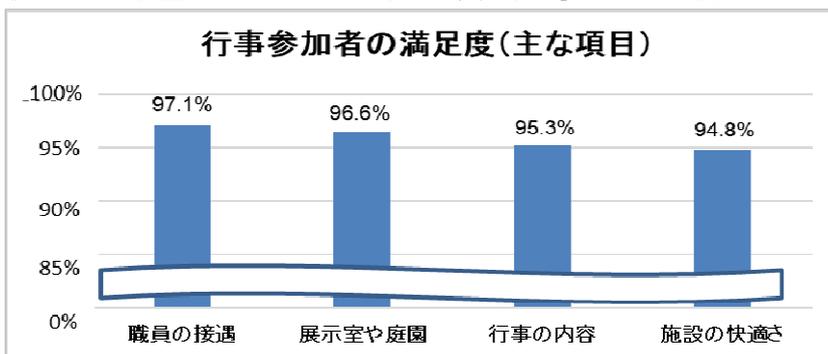
(1) 施設見学者の満足度



- ・「職員の接遇」「展示内容」「復元住居の体験」「施設の快適さ」の項目で極めて高い満足度を継続しています。
- ・常設展示として多摩ニュータウン遺跡の発掘調査成果を通史展示したほか、企画展示として、『蒼海(うみ)わたる人々-考古学から見たとうきょうの島々-』と題して、東京都島嶼部の遺跡に関する調査成果を、都内で初めて展示いたしました。
- ・お客様の声に応じて、復元住居の改修や復元住居内で行っている火焚きの回数を大幅に増やすなどした結果、「復元住居の体験」も高い満足度となりました。

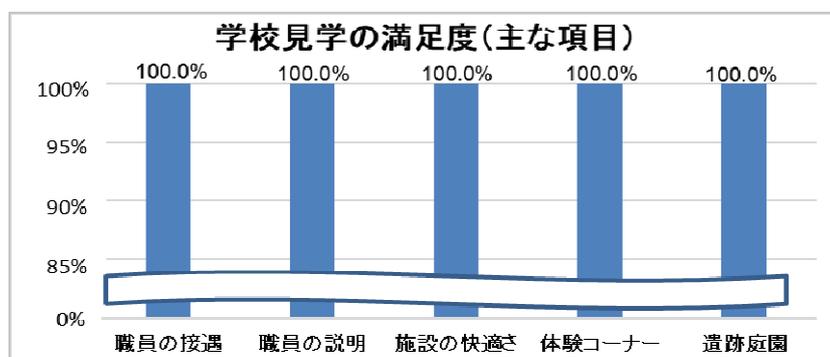
(2) 行事参加者の満足度

広報学芸担当職員や受付職員のほか、警備、清掃、設備、庭園管理など、委託先の職員にも東京都で作成している窓口マニュアルを用いて研修を行うなど、接遇に関する改善を継続した結果、全てのアンケートで、「職員の接遇」は高い満足度を維持しています。



- ・「職員の接遇」「展示室や庭園」「行事の内容」「施設の快適さ」の4つの項目で高評価をいただきました。
 - ・体験教室では、解説用のスライドの改善、スライド映写用のカーテンの設置など、参加者の目線に立った工夫を行いました。
 - ・「縄文ワクワク体験まつり」では、年々減っていたボランティア学生を有償で募集し、大幅な人員増を行うことで、増加する利用者が満足していただけるようなサービスレベルを確保するなど、様々な取組を行った結果、満足度は、29年度の95.2%から97.5%に増えました。
- このような取組を通じて、幅広い利用者のニーズに応えることができたと考えます。

(3) 学校見学の満足度



- ・29年度と同様に「職員の接遇」「職員の説明」「施設の快適さ」の満足度が100%であったほか、「体験コーナー」「遺跡庭園」の満足度も100%でした。
- ・専門的で高度な知識を持った学芸員による分かりやすい解説のほかに、遺跡庭園の整備や、体験コーナーへの踏み台設置などを行ったことが高い評価につながったと考えます。
- ・学校見学に際しては、ドングリなどのアレルギーを持つ児童の有無を確認するなど、楽しみながらも安全に学ぶよう学校と綿密に打ち合わせをしています。

平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声3

3 「お客様の声」を反映した取組

(1) 【ご要望等にお応えしました】

● 幼児や低学年でも参加できる教室があるとうれしい

⇒幼児・小学校低学年向けのワークショップ「縄文パクパクを作ろう！」を企画・実施しました。

参加者からは『パクパクで縄文時代の事がわかりやすく知れて良かった。』『小さい子でも楽しめるパクパクはすごく良かったです。』というご意見をいただきました。

● 映像コーナーに一人分の椅子しかない

⇒一人掛け用のスツールから、お二人でも座れるソファに更新しました。

更新後は、親子やご夫婦など、これまでより映像コーナーを利用する方が多く見受けられるようになりました。

● 幼児用に踏み台があるとうれしい

⇒体験コーナーに高さ20cmの子供用の踏み台を1台設置し、各体験コーナーで使用できるようにしました。

幼児でも体験コーナーを利用しやすくなり、『子供は体験コーナーがお気に入りです』という意見が多数みられます。

● 復元住居で火が焚かれているのを見られて嬉しかった

⇒火焚き実施日数を年間239日から316日に増加し、より多くの方に縄文時代の住居を体感していただく機会を提供しました。

火焚き担当の接客対応も評判がよく、復元住居見学者がスタッフに気軽に質問できる雰囲気づくりに役立ち、利用者満足度の向上にもつながりました。

● 復元住居の近くに椅子がなく、高齢者には見学が厳しい

⇒台風被害にあった倒木を丸太の腰かけとして再利用し、復元住居付近に設置しました。

市販のベンチ等を設置するよりも、遺跡庭園の景観を損ねず休憩場所を設けることができました。

● トイレはきれいだが、便座を消毒できるとなおよい

⇒展示エリアのトイレ個室(4か所)に便座消毒液を新たに設置しました。

● 会議室はエアコンの真下だと寒すぎる

⇒空調機の送風口の真下は直接風が当たってしまい、寒く感じられる方がいるため、風を分散させるファンを設置しました。

● 駅からの道がわかりづらいので、駅に案内がほしい

⇒写真入りの道案内を作成し、ホームページに掲載しました。

また、多摩センター駅付近への案内誘導サイン設置について多摩市に要望しました。(多摩市は2020年度までに多摩センター駅周辺地区の公共サインを整備する予定)



※ 「お客様の声」について

アンケートのご意見のほか、できるだけ多くのお客様にお声がけして、直接ご意見を伺うよう努めております。

直接いただいたご意見からは、上記のほかに「車イスの追加」、「滑り止めスプレーの塗布」、「蓄光テープの設置」、「ペダル式ゴミ箱の設置」など、貴重な改善を行うことができました。

平成30年度 利用者アンケート結果とお客様の声4

4 お客様からこのようなご意見を多数いただきました。

(1) 常設展・企画展など展示に関するご意見

- 実物を見て、さわることができたので、教科書より勉強になりました。(小学生・男子)
- じょうもんのいみが、なわだとはしなくて、おどろきました。(小学生・女子)
- 歴史の授業で土器に興味を持ち、ここを訪れました。展示ホールはもちろん、土器の収蔵庫がとてまたのしかったです。文様の付け方が知りたいと思っており、使用道具や展開図の説明のついた土器はとても勉強になりました。月替わりの展示コーナーは再び訪れたいという気持ちが沸きました。(中学生・女子)
- 時代を追っての展示で分かりやすかったです。土器に触ったのは初めてで、感動しました。(中学生・男子)
- 展示がとてもわかりやすかったです。企画展の「海」の雰囲気を出すためのライトや音の工夫がおもしろかったです。(大学生・女性)
- 展示ホールでの音や照明等の効果があり、五感をとおして楽しむことができました。(20代・男性)
- 土器などにあまり興味がなかった私でも、とても楽しめ考えさせられました！！また色々な勉強をしたあとここに来てみたいです。(20代・女性)
- 展示方法に工夫があってよかった。「今月の逸品」、クレーンキャッチャーもおもしろい予想以上に充実していて楽しかった。(30代・男性)
- 本物の縄文土器に触れられる所をさがして、ここに来ました。文字などの情報だけでなく、感性で本物を感じられる場で、とても素晴らしい取り組みだと思います！又来たいです。(30代・女性)
- 土器を実際に触れるのに感動しました。縄文時代の人に親近感。年代別の展示に、流行や人の変化を感じます。火おこし体験は貴重です。火の大切さを改めて知り、炎を恐れるのではなく、身近に接することで生き物本来の気持ちを味わえる感じがします。来場者を楽しくさせる工夫が沢山あって、リピートしたくなります。(40代・女性)
- 大変興味深く拝見させていただきました。地域の古代史をここまでうまく展示している所は他にないと思います。(40代・男性)
- Very interesting. Glad there was English signs. (40代・男性)
- 展示数の多さ、手で触れられること、近くで見られること、とても素晴らしい！！特に縄文土器は触って感じる事が大事だと思います。バックヤードの土器も見られてうれしい！！初めて来たが大満足。リピートしたい。無料ということにもビックリ。(50代・女性)
- 無料で見学できるのが素晴らしい。教科書の写真で見ると実物を見るのでは大違いですね。この用紙の置かれている場所のガラスの向こうにある縄文土器に、静かな迫力を感じました。(50代・男性)
- いのししを落として食料にしていた展示や食べもの(食事の様子)のビデオなどわかりやすかった。他は土器だけの展示とかが多いので具体的だった。(50代・女性)
- Very well organized and information even for non-japanese visitor to understand the history to japan. (日本人以外のお客様にも、日本の歴史を理解するための情報が整えられています。)(60代・男性・イギリス)
- 展示は、地域を限定しているため、非常に分かりやすい。他の博物館では広範囲な展示が多く分かりにくいので、このセンターの役割は大きい。(70代以上・男性)

(2) 体験コーナーなどに関するご意見

- 展示が充実していた。本物の土器をさわることができたり、ドングリをくたくたく体験などがあり、とても楽しく縄文時代の事を知ることができました！！（中学生・女子）
- 触れたり、体験できるものがたくさんあり、視覚障害を持つ私達にとって、とてもわかりやすかったです。こうした施設が増えると良いと思います。（高校生・男子）
- 「そっと触ってください」の表記があり、初めて土器に触れたのだが、それが新鮮な体験で印象に残った。（大学生・男性）
- 体験コーナーで子供が楽しませていただきました。本物の土器に触れたり、ドングリの製粉など、単なる知識でなく実体験できた点が私にとっても貴重でした。（40代・女性）
- ある意味堅い内容になりがちな「文化財」の展示を、いかに面白くみせるか工夫をこらしてあるのに感心しました。「縄文良品」実際に店で売ってるかも（売ったら面白いかも）という内容もあり近くに来た時にはまた寄らせてもらおうと思います。（40代・女性）
- 学芸員さんが展示を楽しめるように工夫してくださっているのを感じました。パズル、子どもたちが楽しんでいました。（40代・女性）

(3) 施設や遺跡庭園「縄文の村」に関するご意見

- 庭園がステキでわかりやすかった。職員の方が住居の事や森の事を説明してくれて、よりわかった。（中学生・女子）
- 初めてお邪魔しましたが、きれいで快適、それでいて体験を主とした展示で楽しく学ぶことができました。（大学生・男性）
- 常に館内美化に務めていて快適でした。（大学生・女性）
- 杖置きに感心しました。通路に飾られている土器が素晴らしかった。（40代・女性）
- 館内設備が乳児を連れた来館者にも配慮されている点に好感がもてました。（40代・男性）
- 普通にお散歩しても快適。（40代・女性）
- 外のお手洗いなのにとてもキレイでした。（40代・女性）
- 洋式トイレ、杖かけなど助かります。（60代・女性）

(4) 職員に関するご意見

- あいさつをしてくれて、うれしかったです。（小学生・女子）
- 説明はとても分かりやすい。初めて土器に触れて貴重な体験をできたと思います。これから火おこしをしますが、とてもおもてなしが良いと思います。このまま子供たち、大人たちの興味をさがす仕事を続けてください。（大学生・女性）
- アンケートの意見を反映したり体験コーナーを作ったり、来館者に寄り沿っていて、とてもよいと思いました。（大学生・女性）
- みなさんとともにこやかに話していただき居心地がよかったです（30代・女性）
- 事務の方にお声がけ頂き、体験コーナーで色々説明して下さり、子供も楽しく学ぶことができました。どうもありがとうございました。（30代・女性）
- 子どもに道具の使い方をやさしく教えていただきありがとうございました。（40代・女性）
- 館内も快適で職員の方の接遇もすばらしかったです。（40代・男性）
- 縄文土器の型式名が表示される様になっていました。以前アンケートでお願いしていたので大変うれしかったです。（50代・男性）
- 土器に触れることができとてもよかったです。写真も自由にとれて、よかったです。来てみて本当に良かったと思いました。知人にも宣伝したいと思います。全体的に自由な感じがとてもすばらしいです。アンケートの意見が活かされているのも、とてもすばらしいと思います。（50代・女性）
- 職員の方が親切で気持ちがいい。（60代・男性）
- 大変親切にご指導いただきました。庭園の復元住居の火焚きも見せていただき、良い体験ができました。（60代・女性）

(5) イベントの参加者から

- 貴館は、他館にはない考古学のイベントが多く、とっても楽しみです（特に秋は充実していて大満足）。（考古学実習④-カマド・古代食体験）
- 東京国立博物館長によるトーハクの「縄文展」に展示された展示品についてのくわしい解説や展示にまつわる舞台裏話など、いろいろと有益なることを聴くことができ大変有益で勉強になった。（多摩市共催文化財講演会）
- 配布資料、スライド解説とてもわかりやすい。実習指導も親切でいいので、わかりやすかった。（古代の糸作り教室）
- 自然の実がこんなにごちそうになるとは思っていませんでした。自然の大切さを再度認識しました。職員の方々の努力と熱意に感動しています。（縄文食体験）
- 石器が良くきれることがわかったり、調理道具の使われ方や食材の味がよくわかり、いい経験でした。（縄文食体験）
- 離島に遺跡があることを初めて知った。（文化財講演会）
- 講義も興味深く聞かせていただきました。無料の行事というのもありがたいです。（トンボ玉づくり教室）
- 大きなテーブル付の椅子に変わっていたので驚くとともに、感謝です。荷物置きもついている、すごくよく考えてもらっていると思いました。（文化財講演会）
- 掃除されていて、台風のあとなのに歩きやすかった。（自然観察会）
- 野焼きが1日延期になることの連絡を何度もくださり、ありがとうございます。丁寧な対応に感謝です。（縄文土器づくり体験）
- 往復はがきではなく、インターネットで申し込みできて(対応してただけて)良かった。ありがとうございます。（縄文土器づくり教室）

(6) 社会科見学で利用した児童のお礼状から

- 歴史はむずかしそうなので、人の名前や様々なことを覚えなければいけないとっていて、歴史の勉強が少し嫌になっていたのですが、昨日の体験で変わり、昔の道具や土器などに興味がわき、特に縄文時代が好きになりました。
- 家に帰り、父と母にもう一度家族で行きたいと話しました。また今度ぜひ行きたいと思います。
- 縄文時代の人々は、このように自分たちの文化が現代にも伝わっているなんて考えもしなかったと思います。もしかしたら、私たちの文化も1万年後くらいの日本の人々に伝えられていくのかも、なんて考えるとワクワクします。縄文時代の人々は今の日本を作ってくれたとも言えると思います。縄文時代の人々に感謝です。
- 実際にふれて見て、縄文人と手をつないだかのような気分になりました。体験では、火おこしの練習をしたり、洋服を着たりして縄文時代にタイムスリップしたような気持ちになりました。
- 本物の土器に触れたことが良かった。この土器を通して、縄文時代の方々と、お話ができたと思うと感動しました。

(7) 社会科見学で利用した教員から

- 説明もわかりやすく、お話の内容も子供の想像力を掻き立て、イメージが膨らむきっかけになり、素晴らしかったです。
- 担当の方が実踏時も含め、とても良くしてくださった。詳しい解説や担任や子どもたちの矢継ぎ早やで雑多な質問にもとても丁寧に答えて頂いたこと、本当に有難うございました。プロ・専門家の方にお話を伺う喜び、面白さを子供達は感じていました。
- 予約をした頃から6クラスの対応をいろいろ考えて下さり、おかげでスムーズな実りのある見学をさせていただきました。本当にありがとうございました。
- 学習とリンクする部分が多く、子どもたちも興味津々で見学していました。

(8) 職場体験を行った中学生のお礼状から

- 普段何気なく生活してきて、いろいろな人に支えられているということを改めて感じることができました。僕にとってこの三日間は、この先経験できないようなことばかりですごく貴重な体験でした。

資 料

平成30年度 出前授業一覧

件数	実施日	派遣先	内容	参加人数	派遣職員数
1	6月22日(金)	東村山市立久米川小学校	勾玉作り教室	82人	3人
2	6月28日(木)	稲城市立稲城第二小学校	勾玉作り教室	14人	1人
3	7月3日(火)	町田市立南成瀬小学校	勾玉作り教室	66人	2人
4	7月9日(月)	八王子市立松が谷小学校	火おこし体験	14人	1人
5	8月7日(火)	調布市立八雲台小学校	勾玉作り教室	120人	4人
6	9月3日(月)	八王子市立みなみ野君田小学校	勾玉作り教室	119人	4人
7	10月3日(水)	多摩市立落合中学校	勾玉作り教室	17人	1人
8	10月29日(月)	八王子市立みなみ野君田小学校	勾玉作り教室	119人	4人
				551人	20人

平成30年度 職場体験・研修等受け入れ実績一覧

【職場体験】

No.	受入日	職場体験校	受入人数	延人数
1	7月2日(月) 7月3日(火) 7月4日(水)	八王子市立別所中学校	3人	9人
2	7月12日(木) 7月13日(金) 7月14日(土)	八王子市立宮上中学校	4人	12人
3	8月27日(月) 8月28日(火)	東京都立西高等学校	1人	2人
4	9月5日(水) 9月6日(木) 9月7日(金)	八王子市立由木中学校	4人	12人
5	9月11日(火) 9月12日(水) 9月13日(木)	多摩市立鶴牧中学校	3人	9人
6	10月23日(火) 10月24日(水) 10月25日(木)	八王子市立松が谷中学校	4人	12人
7	11月14日(水) 11月15日(木) 11月16日(金)	東京都立三鷹中等教育学校	4人	12人
8	11月19日(月) 11月20日(火) 11月21日(水)	町田市立小山中学校	2人	6人
9	11月27日(火) 11月28日(水) 11月29日(木)	多摩市立永山中学校	2人	6人
10	1月21日(月) 1月22日(火) 1月23日(水)	町田市立鶴川第二中学校	2人	6人
11	3月7日(木) 3月8日(金)	八王子市立ひよどり山中学校	4人	8人
合 計			33人	94人

【研修】

No.	受入日	研修対象	受入人数	延人数
12	8月20日(月) 8月21日(火) 8月22日(水)	東京都公立学校中堅教諭研修Ⅰ「課題別選択研修」	4人	12人
合 計			4人	12人

平成30年度 遺跡見学会実績一覧

No.	実施日	遺跡名	参加者数
1	6月9日(土)	文京区小日向二丁目	562名
2	6月20日(水)	新宿区若林東分室	60名
3	10月13日(土)	日野バイパス(平山)	310名
4	11月1日(木)	日野バイパス(平山)	10名
5	11月3日(土)	新宿区若林東分室	28名
6	12月14日(金)	目黒区大橋二丁目分室	3名
	合計		973名

平成30年度 資料等貸出一覧

種別	申請年月日	貸出先	使用目的	資料名
1 写真資料	4月2日(月)	株式会社 ESS	『別冊カドカワDirect 10』『漫喫より文化的な暮らしを！(仮)』への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター遺跡庭園「縄文の村」復元住居全景写真 1点 ・同上展示ホール常設展示写真 1点
2 出土遺物 写真資料	4月2日(月)	小学館	『ルポまんが 1万3000年続いたオドロキの歴史 おもしろ謎解き「縄文」のヒミツ』への掲載	・多摩ニュータウンNo.72遺跡出土 土偶写真 1点
3 教材	4月14日(土)	都立山崎高校	授業参考資料として	・縄文土器教材キット 1点 ・木の実(クルミ・クヌギ・ナラ・カシ・シイ)他 9点 ・火おこし道具(見本) 1式
4 出土遺物 写真資料	4月16日(月)	株式会社 NHKプロモーション	特別展示『縄文 —1万年の美の鼓動』における図録、印刷物、情報掲載紙、インターネットへの掲載、展示映像およびテレビで放映	・多摩ニュータウンNo.471遺跡出土 土偶写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.920遺跡出土 鳥形把手付深鉢形土器写真 1点
5 写真資料	4月27日(金)	株式会社 シービーツアーズ	募集型企画旅行のチラシへの掲載	・都立埋蔵文化財調査センター展示ホール常設展示写真 1点 ・同上遺跡庭園「縄文の村」復元住居全景写真 1点
6 写真資料	5月24日(木)	株式会社 山川出版社	『親子で自由研究 関東穴場スポット100』への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター遺跡庭園「縄文の村」復元住居全景写真 1点
7 出土遺物 写真資料	5月28日(月)	都市出版株式会社	月刊『東京人』特集「見るべき土器、土偶、装飾品」への掲載	・多摩ニュータウンNo.300遺跡出土 縄文土器写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.9遺跡出土 縄文土器写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.72遺跡出土 土偶写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.471遺跡出土 土偶写真 1点
8 写真資料	6月6日(水)	共同通信東京エンタメ取材チーム	企画展示『蒼海わたる人々 考古学からみたとうきょうの島々』紹介のため共同通信加盟の新聞各紙への掲載	・神津島沖海底遺跡挿録写真 1点
9 写真資料	6月7日(木)	株式会社 ウィル	『ふしぎ 366(仮)』特集「縄文時代ってどんな時代？」への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター遺跡庭園「縄文の村」復元住居写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.67遺跡出土 縄文土器写真 1点
10 写真資料	6月29日(金)	谷口 康浩	著書『入門 縄文時代の考古学』(同成社出版)への掲載	・打製石斧(集積状態)と推定復元資料 写真 1点
11 写真資料	7月1日(日)	株式会社 目の眼	目の眼8月号特集 縄文展示館ガイドページへの掲載	・都立埋蔵文化財調査センター展示ホール常設展示写真 1点
12 出土資料 写真資料	7月3日(火)	エー・アール・ティー株式会社 月刊『江戸楽』編集部	月刊『江戸楽』特集「日本の伝統文様(仮)」への掲載	・多摩ニュータウンNo.72遺跡出土 縄文土器写真 1点
13 教材	7月4日(水)	石川 良一	郷土の歴史研究のため	・「古代史の発掘」(No.3) DVD 1点
14 写真資料	7月17日(火)	株式会社kazeniwa	Webメディア「ユカリ」都内の縄文関連施設特集への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター遺跡庭園「縄文の村」復元住居B棟写真 1点 ・同上体験コーナー火おこし 写真 1点
15 出土資料 写真資料	7月19日(木)	谷口 康浩	著書『入門 縄文時代の考古学』(同成社出版)への掲載	・多摩ニュータウンNo.796遺跡出土 柄鏡形敷石住居跡写真 1点
16 写真資料	7月26日(木)	株式会社 榎出版社	月刊『Discover Japan』への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター遺跡庭園「縄文の村」復元住居A棟写真 1点
17 出土遺物	7月30日(月)	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館総合展示第1展示室(先史・古代)大テーマ I 「最終氷期に生きた人々」で	・重要文化財「東京都前田耕地遺跡出土品」のうち 尖頭器 8点
18 写真資料	7月31日(火)	イワクラ学会 東京ブロック 八王子支部	学会会報『イワクラ』43号への掲載	・多摩ニュータウンNo.72遺跡出土 土器装飾(人面型)写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.9遺跡出土 背面人体文土偶写真 1点
19 写真資料	8月7日(火)	チームラボセールス株式会社	山川出版社Webメディア「ヒストリスト」縄文コンテンツへの掲載	・都立埋蔵文化財調査センター遺跡庭園「縄文の村」復元住居B棟写真 1点
20 出土遺物 写真資料	8月15日(水)	(株)徳間書店	書籍『ハマる縄文!?!』への掲載	・多摩ニュータウンNo.9遺跡出土 顔面把手写真 1点
21 出土遺物	8月24日(金)	長野県立歴史館	平成30年度秋季企画展示「最古の信州ブランド 黒曜石」での展示及び図録等への掲載	・多摩ニュータウンNo.939遺跡出土 黒曜石製勾玉 1点
22 資料(レブリカ)	8月28日(火)	多摩美術大学美術館	特別展示「加東市×多摩美 特別展 神 仏 人」への出品	・マネキン 2体
23 出土遺物	8月31日(金)	岩宿博物館	第66回企画展示「石槍 一時代を変えた石器のライフストーリー」における展示及び図録への掲載	・多摩ニュータウンNo.125遺跡出土資料 2点 ・多摩ニュータウンNo.796遺跡出土資料 3点 ・多摩ニュータウンNo.407遺跡出土資料 3点 ・多摩ニュータウンNo.726,727,728遺跡出土資料 1点 ・多摩ニュータウンNo.406遺跡出土資料 3点 ・多摩ニュータウンNo.5遺跡出土資料 3点 ・多摩ニュータウンNo.426遺跡出土資料 6点 ・多摩ニュータウンNo.951,952遺跡出土資料 1点 ・多摩ニュータウンNo.287,288,289遺跡出土資料 2点 ・多摩ニュータウンNo.72,795,796遺跡出土資料 8点 ・多摩ニュータウンNo.27遺跡出土資料 4点 ・多摩ニュータウンNo.344遺跡出土資料 1点 ・多摩ニュータウンNo.107遺跡出土資料 2点 ・多摩ニュータウンNo.753遺跡出土資料 1点 ・多摩ニュータウンNo.200遺跡出土資料 1点 ・多摩ニュータウンNo.243,244遺跡出土資料 2点 ・多摩ニュータウンNo.27遺跡写真 1点
24 写真資料	9月16日(日)	安部 季実子	子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター展示ホール常設展示写真 1点 ・同上体験コーナー火おこし 1点
25 写真資料	10月5日(金)	(株)ベネッセコーポレーション	通信教育教材6年生向け「進研ゼミ 小学講座」内「チャレンジタッチ講座」4月号アプリ「うきでるアプリ」Webメディア「わくわく歴史アニメ」への掲載	・多摩ニュータウンNo.446遺跡出土 縄文土器写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.211,930,931遺跡出土 弥生土器写真 1点

平成30年度 資料等貸出一覧

	種別	申請年月日	貸出先	使用目的	資料名
26	出土資料 写真資料	10月23日(火)	相模原市立博物館	相模原市立博物館考古学講座のポスター・チラシへの掲載	・多摩ニュータウンNo.248遺跡検出粘土採掘坑写真 1点
27	出土遺物 写真資料	11月2日(金)	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館総合展示第1展示室(先史・古代)大テーマⅠ「最終氷期に生きた人々」での展示	・多摩ニュータウンNo.446遺跡出土 縄文土器 5点 ・多摩ニュータウンNo.446遺跡出土 石鏃 3点 ・多摩ニュータウンNo.446遺跡出土 剥片石器 2点 ・多摩ニュータウンNo.446遺跡出土 打製石斧 3点 ・多摩ニュータウンNo.446遺跡出土 石皿 1点
28	出土遺物	11月5日(月)	横浜市歴史博物館	平成30年度企画展示「横浜の野を駆ける—古代東国の馬と牧—」への展示及び図録・展示パネル・広報媒体への掲載	・多摩ニュータウンNo.178遺跡出土 灰釉陶器長頸壺 1点 ・多摩ニュータウンNo.178遺跡出土 土師器甕 1点 ・多摩ニュータウンNo.178遺跡出土 灰釉陶器高台付碗 1点 ・多摩ニュータウンNo.178遺跡出土 鉄製品轡 1点 ・多摩ニュータウンNo.178遺跡出土 鉄製品鏃 1点 ・多摩ニュータウンNo.178遺跡1号住居跡写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.178遺跡出土火床、炭化物写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.107遺跡出土 木製品皿 3点 ・多摩ニュータウンNo.107遺跡出土 木製品鞍 1点 ・多摩ニュータウンNo.107遺跡出土 木製品弓 1点 ・多摩ニュータウンNo.107遺跡出土 須恵器坏 2点 ・多摩ニュータウンNo.107遺跡古代水場遺構出土遺物写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.248遺跡出土 須恵器碗 1点 ・多摩ニュータウンNo.248遺跡出土 須恵器坏 1点 ・多摩ニュータウンNo.248遺跡出土 灰釉陶器平瓶 1点 ・多摩ニュータウンNo.248遺跡出土 鉄製品鏃 2点 ・多摩ニュータウンNo.248遺跡出土 鉄製品鉸具 1点 ・多摩ニュータウンNo.248遺跡出土 銅製品 1点 ・他写真 2点
29	出土遺物 写真資料	11月26日(月)	株式会社 講談社	書籍『縄文時代の歴史』への掲載	・多摩ニュータウンNo.245,248遺跡出土 縄文土器と打製石斧写真 1点
30	出土資料 写真資料	11月30日(金)	(公財)東京動物園協会 多摩動物公園	干支展「3匹のいのしし」内解説パネルへの掲載	・多摩ニュータウンNo.901遺跡 空撮写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.243遺跡出土 土坑断面写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.471遺跡出土 イノシシ形土製品写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.9遺跡出土 縄文土器片写真 1点 ・都立埋蔵文化財調査センター常設展示 陥し穴イノシシイラスト 1点
31	出土遺物 写真資料	12月5日(水)	新津 健	縄文時代文化研究会『縄文時代』第30号「土偶付土器の実態と出現の背景」への掲載	・多摩ニュータウンNo.72遺跡出土 土器把手写真 1点
32	出土遺物 写真資料	12月6日(木)	エー・アール・ティー株式会社	月刊『江戸楽』2019年1月号巻頭特集「器」への掲載	・縄文時代土器写真 1点 ・弥生時代土器写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.540遺跡出土土師器写真 1点 ・多摩ニュータウンNo.342遺跡出土須恵器写真 1点
33	写真資料	12月7日(金)	大塩 達	はるか書房刊行『子どもと一緒に つくる平和の教室(仮)』『博物館 で授業づくり』への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター 遺跡庭園「縄文の村」復元住居内の火焚き写真 1点
34	出土遺物 写真資料	12月12日(水)	株式会社 ベネッセコーポレーション	2019年度『受験エンカレッジ日本史』4月号X10への掲載	・石鏃(「平成元年度展示解説」所収)写真 1点 ・細石器(「多摩の遺跡展 発掘物語 in TAMA」所収)写真 1点
35	教材	12月18日(火)	板橋区立郷土資料館	館内フオスポットでの使用	・縄文服Mサイズ 2セット ・縄文服Lサイズ 2セット
36	出土遺物 写真資料	1月7日(月)	株式会社NHKエデュケーショナル 教育部	NHK高校講座生物基礎「第34回 日本のバイオーム」での使用	・縄文時代石鏃、石皿・磨石、旧石器時代尖頭器等の画像(平成26年度 高校講座「日本史」で使用) ・都立埋蔵文化財調査センター 外観写真 1点
37	写真資料	1月15日(火)	株式会社 グリーンシーブ	Webメディア「MyTown」への掲載	・同上 展示ホール写真 1点 ・同上 遺跡庭園「縄文の村」 1点
38	写真資料	1月24日(木)	株式会社 URリンケージ	東京都住宅供給公社製作タブレット『JKK TOKYO LIFE』への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター 展示ホール写真 1点 ・同上 遺跡庭園「縄文の村」団体見学風景写真 1点
39	出土遺物 写真資料	2月6日(水)	株式会社フォト・オリジナル	『小学実力練成テキスト エフォートB』への掲載	・「多摩ニュータウン遺跡出土の石器及び石斧レプリカ」のうち石器部分 1点
40	出土遺物	2月14日(木)	相模原市立博物館	企画展示「相模原市の遺跡2019」での展示	・多摩ニュータウンNo.46遺跡 人体装飾付深鉢形土器 1点
41	写真資料	2月19日(火)	教育出版株式会社	2021年度版『中学社会 歴史』の内「旧石器時代から縄文時代へ」への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター 遺跡庭園「縄文の村」復元住居内部写真 1点
42	出土遺物	2月28日(木)	株式会社NHKエデュケーショナル 教育部	「NHK高校講座 日本史」での使用	・ナイフ形石器 1点 ・槍先形尖頭器 2点 ・細石刃 5点 ・石鏃 10点 ・打製石斧 3点 ・磨製石斧 1点 ・深鉢 2点 ・土偶 3点 ・鉄鏃 1点 ・槍、細石刃槍着柄例レプリカ 各1点 ・矢レプリカ 2点 ・打製石斧着柄例 1点 ・磨製石斧着柄例 1点 ・銅鐸レプリカ 1点 ・石包丁レプリカ 1点
43	写真資料	3月18日(月)	宝仙学園小学校	「宝仙小学校スクールガイド2020」への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター 小学校団体見学時写真 1点
44	写真資料	3月12日(火)	株式会社マイナビ	マイナビ賃貸内「学生の街大図鑑」多摩センター回への掲載	・都立埋蔵文化財調査センター 外観写真 1点

平成30年度 主な掲載紙

掲 載 紙 名	掲 載 数
広報東京都	2
たま広報	1
読売新聞	5
朝日新聞	1
毎日新聞	4
東京新聞	5
週刊もしもし新聞	27
タウンニュース	7
ジャパン通信文化財発掘出土情報	8
合 計	60

●無料掲載のミニコミ誌等の継続的な活用

費用を抑えつつ効果的な、大手新聞やミニコミ誌の行事欄を活用するため、記事掲載依頼を継続したところ、年間60回掲載され、行事等のPRを都民に対して行うことができました。

●有料広告の効果的な活用

無料掲載の広告のほかに有料広告も活用しました。多摩地域周辺の利用者に比べ、都心部の利用者が少ないため、都心部に向けてメトロガイドへ広告掲載を2度行ったほか、都内全域の小学生、保護者、教員に向けた案内として、毎日小学生新聞への広告掲載など、合計6回実施し、認知度向上を図りました。いずれも、定価より安価な機会をとらえて実施しましたので、費用も押さえることができました。

財務諸表

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,434,977,551	1,279,525,573	155,451,978
未収金	1,251,329,028	1,430,864,318	△ 179,535,290
前払金	18,994,767	23,689,663	△ 4,694,896
預け金	1,853,000	1,635,000	218,000
流動資産合計	2,707,154,346	2,735,714,554	△ 28,560,208
2 固定資産			
(1) 基本財産	500,000,000	500,000,000	0
預金	150,425	150,425	0
投資有価証券	499,849,575	499,849,575	0
(2) 特定資産	507,406,079	727,068,151	△ 219,662,072
退職給付引当資産	244,970,020	327,286,000	△ 82,315,980
新規事業準備等引当資産	122,090,000	122,090,000	0
財政調整引当資産	100,000,000	100,000,000	0
調査事業資産取得積立資産	0	139,575,343	△ 139,575,343
埋文事業特定費用準備資金	2,192,323	0	2,192,323
スポーツ普及振興積立資産	38,153,736	38,116,808	36,928
(3) その他固定資産	213,618,721	34,459,991	179,158,730
建物	1,808,253	5,267,941	△ 3,459,688
構築物	12,684,003	16,601,588	△ 3,917,585
什器備品	135,247,445	2,441,668	132,805,777
リース資産	3,395,520	0	3,395,520
敷金	57,140,703	4,221,600	52,919,103
ソフトウェア	2,584,397	5,168,794	△ 2,584,397
電話加入権	758,400	758,400	0
固定資産合計	1,221,024,800	1,261,528,142	△ 40,503,342
資 産 合 計	3,928,179,146	3,997,242,696	△ 69,063,550
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,742,557,725	1,686,116,165	56,441,560
未払消費税等	5,080,700	6,956,500	△ 1,875,800
未払法人税等	270,000	1,308,600	△ 1,038,600
前受金	82,046,654	108,855,837	△ 26,809,183
預り金	22,017,548	22,171,280	△ 153,732
仮受金	110,084,752	114,123,946	△ 4,039,194
リース債務	848,880	0	848,880
賞与引当金	44,746,439	43,187,900	1,558,539
流動負債合計	2,007,652,698	1,982,720,228	24,932,470
2 固定負債			
退職給付引当金	244,970,020	327,286,000	△ 82,315,980
リース債務	2,546,640	0	2,546,640
固定負債合計	247,516,660	327,286,000	△ 79,769,340
負 債 合 計	2,255,169,358	2,310,006,228	△ 54,836,870
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	38,153,736	38,116,808	36,928
出捐金	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産合計	538,153,736	538,116,808	36,928
(うち基本財産への充当額)	(500,000,000)	(500,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(38,153,736)	(38,116,808)	(36,928)
2 一般正味財産	1,134,856,052	1,149,119,660	△ 14,263,608
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(224,282,323)	(361,665,343)	(△137,383,020)
正味財産合計	1,673,009,788	1,687,236,468	△ 14,226,680
負債及び正味財産合計	3,928,179,146	3,997,242,696	△ 69,063,550

貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業会計小計
	スポーツ事業会計	埋蔵文化財事業会計	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	522,742,477	696,291,418	1,219,033,895
未収金	480,279,109	762,247,324	1,242,526,433
前払金	6,466,869	8,674,451	15,141,320
預け金	1,853,000	0	1,853,000
内部会計貸付金	0	0	0
流動資産合計	1,011,341,455	1,467,213,193	2,478,554,648
2 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
預金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
(2) 特定資産	120,372,394	237,235,143	357,607,537
退職給付引当資産	0	235,042,820	235,042,820
新規事業準備等引当資産	82,218,658	0	82,218,658
財政調整引当資産	0	0	0
調査事業資産取得積立資産	0	0	0
埋文事業特定費用準備資金	0	2,192,323	2,192,323
スポーツ普及振興積立資産	38,153,736	0	38,153,736
(3) その他固定資産	70,552,053	131,035,544	201,587,597
建物	727,344	0	727,344
構築物	12,684,003	0	12,684,003
什器備品	2	127,692,748	127,692,750
リース資産			0
敷金	57,140,703	0	57,140,703
ソフトウェア	1	2,584,396	2,584,397
電話加入権	0	758,400	758,400
固定資産合計	190,924,447	368,270,687	559,195,134
資 産 合 計	1,202,265,902	1,835,483,880	3,037,749,782
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	610,095,195	1,116,437,368	1,726,532,563
未払消費税等	0	0	0
未払法人税等	0	0	0
前受金	80,876,692	0	80,876,692
預り金	17,279,295	627,706	17,907,001
仮受金	54,641,916	0	54,641,916
内部会計借入金	147,650,786	212,263,348	359,914,134
リース債務	0	0	0
賞与引当金	13,883,407	27,625,425	41,508,832
流動負債合計	924,427,291	1,356,953,847	2,281,381,138
2 固定負債			
退職給付引当金	0	235,042,820	235,042,820
リース債務	0	0	0
固定負債合計	0	235,042,820	235,042,820
負 債 合 計	924,427,291	1,591,996,667	2,516,423,958
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	38,153,736	0	38,153,736
出捐金	0	0	0
指定正味財産合計	38,153,736	0	38,153,736
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(38,153,736)	(0)	(38,153,736)
2 一般正味財産	239,684,875	243,487,213	483,172,088
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(82,218,658)	(2,192,323)	(84,410,981)
正味財産合計	277,838,611	243,487,213	521,325,824
負債及び正味財産合計	1,202,265,902	1,835,483,880	3,037,749,782

(単位:円)

収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
付帯事業会計			
196,871,664	19,071,992		1,434,977,551
7,313,895	1,488,700		1,251,329,028
0	3,853,447		18,994,767
0	0		1,853,000
0	476,126,546	△ 476,126,546	0
204,185,559	500,540,685	△ 476,126,546	2,707,154,346
0	500,000,000		500,000,000
0	150,425		150,425
0	499,849,575		499,849,575
39,871,342	109,927,200		507,406,079
0	9,927,200		244,970,020
39,871,342	0		122,090,000
0	100,000,000		100,000,000
0	0		0
0	0		2,192,323
0	0		38,153,736
1,351,525	10,679,599		213,618,721
1,080,909	0		1,808,253
0	0		12,684,003
270,616	7,284,079		135,247,445
0	3,395,520		3,395,520
0	0		57,140,703
0	0		2,584,397
0	0		758,400
41,222,867	620,606,799	0	1,221,024,800
245,408,426	1,121,147,484	△ 476,126,546	3,928,179,146
3,209,122	12,816,040		1,742,557,725
0	5,080,700		5,080,700
0	270,000		270,000
1,169,962	0		82,046,654
132,016	3,978,531		22,017,548
55,442,836	0		110,084,752
116,212,412	0	△ 476,126,546	0
0	848,880		848,880
567,290	2,670,317		44,746,439
176,733,638	25,664,468	△ 476,126,546	2,007,652,698
0	9,927,200		244,970,020
0	2,546,640		2,546,640
0	12,473,840	0	247,516,660
176,733,638	38,138,308	△ 476,126,546	2,255,169,358
0	0		38,153,736
0	500,000,000		500,000,000
0	500,000,000		538,153,736
(0)	(500,000,000)		(500,000,000)
(0)	(0)		(38,153,736)
68,674,788	583,009,176		1,134,856,052
(0)	(0)		(0)
(39,871,342)	(100,000,000)		(224,282,323)
68,674,788	1,083,009,176	0	1,673,009,788
245,408,426	1,121,147,484	△ 476,126,546	3,928,179,146

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,699,335	3,612,083	87,252
基本財産受取利息	3,699,335	3,612,083	87,252
特定資産運用益	12,000	12,000	0
特定資産受取利息	12,000	12,000	0
事業収益	5,993,425,958	5,868,707,141	124,718,817
指定管理料収益	2,156,161,000	1,625,413,686	530,747,314
受取調査受託金収益	2,832,894,000	2,713,119,386	119,774,614
体育施設利用料収益	529,738,364	836,912,739	△ 307,174,375
施設使用料収益	78,980,809	100,453,417	△ 21,472,608
受取光熱水費収益	8,753,398	13,412,318	△ 4,658,920
参加料収益	79,964,447	97,138,378	△ 17,173,931
協賛金収益	14,445,400	9,846,160	4,599,240
広告料収益	3,585,600	3,844,800	△ 259,200
管理手数料収益	46,273,563	82,402,241	△ 36,128,678
負担金収益	18,299,705	200,931,918	△ 182,632,213
受託金収益	224,329,672	185,232,098	39,097,574
受取補助金等	107,818,926	110,127,459	△ 2,308,533
受取都補助金	107,818,926	110,127,459	△ 2,308,533
受取負担金	683,992,336	777,414,178	△ 93,421,842
受取都負担金	683,992,336	777,414,178	△ 93,421,842
受取寄付金	9,283,072	7,800,921	1,482,151
受取一般寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	9,283,072	7,800,921	1,482,151
雑収益	953,269	1,196,766	△ 243,497
受取利息	3,225	3,054	171
雑収益	950,044	1,193,712	△ 243,668
経常収益計	6,799,184,896	6,768,870,548	30,314,348
(2) 経常費用			
事業費	6,675,165,083	6,741,043,400	△ 65,878,317
給料手当	647,100,758	659,352,589	△ 12,251,831
臨時雇賃金	1,316,300	1,360,720	△ 44,420
賞与引当金繰入額	42,076,122	40,952,456	1,123,666
退職給付費用	11,595,540	10,245,230	1,350,310
福利厚生費	141,168,974	146,202,329	△ 5,033,355
会議費	451,864	540,176	△ 88,312
共益費	3,520,705	0	3,520,705
旅費交通費	22,563,455	21,940,172	623,283
通信運搬費	13,078,407	13,125,659	△ 47,252
減価償却費	8,876,014	4,915,198	3,960,816
消耗什器備品費	85,035,831	72,466,630	12,569,201
消耗品費	77,021,026	88,781,650	△ 11,760,624
修繕費	20,281,532	22,045,840	△ 1,764,308
印刷製本費	29,526,561	43,127,215	△ 13,600,654
新聞図書費	2,389,152	2,795,697	△ 406,545
光熱水費	301,329,901	438,697,253	△ 137,367,352
賃借料	150,774,188	89,436,043	61,338,145
保険料	5,750,222	7,340,478	△ 1,590,256
諸謝金	38,408,711	39,680,980	△ 1,272,269
租税公課	52,525,056	62,481,652	△ 9,956,596
支払負担金	1,052,422,989	1,179,078,856	△ 126,655,867
工事請負費	30,501,259	37,439,863	△ 6,938,604
委託費	3,926,525,589	3,750,304,791	176,220,798
支払手数料	4,296,466	7,471,638	△ 3,175,172
諸会費	404,480	354,480	50,000
雑費	6,223,981	905,805	5,318,176

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	138,013,421	102,319,681	35,693,740
役員報酬	18,351,580	18,327,920	23,660
給料手当	21,365,187	17,752,685	3,612,502
臨時雇賃金	1,549,340	1,242,480	306,860
退職給付費用	4,358,480	2,587,120	1,771,360
賞与引当金繰入額	2,670,317	2,235,444	434,873
福利厚生費	10,509,561	10,239,954	269,607
会議費	46,940	38,774	8,166
共益費	9,422,607	136,176	9,286,431
旅費交通費	931,331	1,091,558	△ 160,227
通信運搬費	1,851,254	1,815,156	36,098
減価償却費	1,426,890	159,505	1,267,385
消耗什器備品費	0	171,180	△ 171,180
消耗品費	2,019,406	2,186,575	△ 167,169
印刷製本費	2,449,027	4,605,859	△ 2,156,832
新聞図書費	419,305	1,104,336	△ 685,031
光熱水費	2,635,574	324,068	2,311,506
賃借料	22,831,697	3,890,510	18,941,187
保険料	98,774	73,580	25,194
諸謝金	13,341,680	13,484,800	△ 143,120
租税公課	4,533,144	4,333,408	199,736
支払負担金	900,000	300,000	600,000
委託費	13,767,262	14,163,390	△ 396,128
支払手数料	2,085,343	1,534,000	551,343
諸会費	15,000	25,000	△ 10,000
雑費	433,722	496,203	△ 62,481
經常費用計	6,813,178,504	6,843,363,081	△ 30,184,577
当期經常増減額	△ 13,993,608	△ 74,492,533	60,498,925
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 13,993,608	△ 74,492,533	60,498,925
法人税・住民税等	270,000	1,308,600	△ 1,038,600
当期一般正味財産増減額	△ 14,263,608	△ 75,801,133	61,537,525
一般正味財産期首残高	1,149,119,660	1,224,920,793	△ 75,801,133
一般正味財産期末残高	1,134,856,052	1,149,119,660	△ 14,263,608
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	9,320,000	12,703,000	△ 3,383,000
一般正味財産への振替額	△ 9,283,072	△ 7,800,921	△ 1,482,151
当期指定正味財産増減額	36,928	4,902,079	△ 4,865,151
指定正味財産期首残高	538,116,808	533,214,729	4,902,079
指定正味財産期末残高	538,153,736	538,116,808	36,928
III 正味財産期末残高	1,673,009,788	1,687,236,468	△ 14,226,680

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業会計小計
	スポーツ事業会計	埋蔵文化財事業会計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	12,000	0	12,000
特定資産受取利息	12,000	0	12,000
事業収益	2,784,708,040	2,934,814,711	5,719,522,751
指定管理料収益	1,943,437,000	91,009,000	2,034,446,000
受取調査受託金収益	0	2,832,894,000	2,832,894,000
体育施設利用料収益	519,409,651	0	519,409,651
施設使用料収益	2,393,150	0	2,393,150
受取光熱水費収益	2,651,126	0	2,651,126
参加料収益	79,964,447	0	79,964,447
協賛金収益	14,445,400	0	14,445,400
広告料収益	3,585,600	0	3,585,600
管理手数料収益	0	0	0
負担金収益	7,387,994	10,911,711	18,299,705
受託金収益	211,433,672	0	211,433,672
受取補助金等	56,595,305	51,223,621	107,818,926
受取都補助金	56,595,305	51,223,621	107,818,926
受取負担金	683,992,336	0	683,992,336
受取都負担金	683,992,336	0	683,992,336
受取寄付金	9,283,072	0	9,283,072
受取寄付金振替額	9,283,072	0	9,283,072
雑収益	821,839	47,113	868,952
受取利息	215	0	215
雑収益	821,624	47,113	868,737
経常収益計	3,535,412,592	2,986,085,445	6,521,498,037
(2) 経常費用			
事業費	3,571,092,630	2,986,676,755	6,557,769,385
給料手当	270,256,862	364,828,620	635,085,482
臨時雇賃金	0	1,316,300	1,316,300
賞与引当金繰入額	13,883,407	27,625,425	41,508,832
退職給付費用	0	11,595,540	11,595,540
福利厚生費	74,050,520	65,002,340	139,052,860
会議費	451,864	0	451,864
共益費	3,520,705	0	3,520,705
旅費交通費	17,471,361	5,016,199	22,487,560
通信運搬費	11,367,979	1,710,428	13,078,407
減価償却費	5,865,678	2,675,237	8,540,915
消耗什器備品費	85,035,831	0	85,035,831
消耗品費	67,579,758	9,246,868	76,826,626
修繕費	19,496,912	784,620	20,281,532
印刷製本費	21,479,384	8,047,177	29,526,561
新聞図書費	864,836	1,524,316	2,389,152
光熱水費	234,784,087	18,056,700	252,840,787
賃借料	135,460,009	13,973,397	149,433,406
保険料	4,456,822	1,293,400	5,750,222
諸謝金	36,123,800	2,284,911	38,408,711
租税公課	26,456,941	23,085,164	49,542,105
支払負担金	1,026,457,742	0	1,026,457,742
工事請負費	28,687,464	1,705,795	30,393,259
委託費	1,477,511,300	2,425,809,191	3,903,320,491
支払手数料	3,532,287	763,747	4,296,034
諸会費	77,600	326,880	404,480
雑費	6,219,481	4,500	6,223,981

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業会計小計
	スポーツ事業会計	埋蔵文化財事業会計	
管理費	0	0	0
役員報酬	0	0	0
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	0	0	0
共益費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
新聞図書費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
賃借料	0	0	0
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
委託費	0	0	0
支払手数料	0	0	0
諸会費	0	0	0
雑費	0	0	0
経常費用計	3,571,092,630	2,986,676,755	6,557,769,385
当期経常増減額	△ 35,680,038	△ 591,310	△ 36,271,348
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 35,680,038	△ 591,310	△ 36,271,348
他会計振替額	21,000,000	25,843	21,025,843
税引前当期一般正味財産増減額	△ 14,680,038	△ 565,467	△ 15,245,505
法人税・住民税等	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 14,680,038	△ 565,467	△ 15,245,505
一般正味財産期首残高	254,364,913	244,052,680	498,417,593
一般正味財産期末残高	239,684,875	243,487,213	483,172,088
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	9,320,000	0	9,320,000
一般正味財産への振替額	△ 9,283,072	0	△ 9,283,072
当期指定正味財産増減額	36,928	0	36,928
指定正味財産期首残高	38,116,808	0	38,116,808
指定正味財産期末残高	38,153,736	0	38,153,736
III 正味財産期末残高	277,838,611	243,487,213	521,325,824

(単位:円)

収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
付帯事業会計			
0	3,699,335		3,699,335
0	3,699,335		3,699,335
0	0		12,000
0	0		12,000
139,292,207	134,611,000		5,993,425,958
0	121,715,000		2,156,161,000
0	0		2,832,894,000
10,328,713	0		529,738,364
76,587,659	0		78,980,809
6,102,272	0		8,753,398
0	0		79,964,447
0	0		14,445,400
0	0		3,585,600
46,273,563	0		46,273,563
0	0		18,299,705
0	12,896,000		224,329,672
0	0		107,818,926
0	0		107,818,926
0	0		683,992,336
0	0		683,992,336
0	0		9,283,072
0	0		9,283,072
10	84,307		953,269
10	3,000		3,225
0	81,307		950,044
139,292,217	138,394,642	0	6,799,184,896
117,395,698	0		6,675,165,083
12,015,276	0		647,100,758
0	0		1,316,300
567,290	0		42,076,122
0	0		11,595,540
2,116,114	0		141,168,974
0	0		451,864
0	0		3,520,705
75,895	0		22,563,455
0	0		13,078,407
335,099	0		8,876,014
0	0		85,035,831
194,400	0		77,021,026
0	0		20,281,532
0	0		29,526,561
0	0		2,389,152
48,489,114	0		301,329,901
1,340,782	0		150,774,188
0	0		5,750,222
0	0		38,408,711
2,982,951	0		52,525,056
25,965,247	0		1,052,422,989
108,000	0		30,501,259
23,205,098	0		3,926,525,589
432	0		4,296,466
0	0		404,480
0	0		6,223,981

(単位:円)

収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
付帯事業会計			
0	138,013,421		138,013,421
0	18,351,580		18,351,580
0	21,365,187		21,365,187
0	1,549,340		1,549,340
0	4,358,480		4,358,480
0	2,670,317		2,670,317
0	10,509,561		10,509,561
0	46,940		46,940
0	9,422,607		9,422,607
0	931,331		931,331
0	1,851,254		1,851,254
0	1,426,890		1,426,890
0	0		0
0	2,019,406		2,019,406
0	2,449,027		2,449,027
0	419,305		419,305
0	2,635,574		2,635,574
0	22,831,697		22,831,697
0	98,774		98,774
0	13,341,680		13,341,680
0	4,533,144		4,533,144
0	900,000		900,000
0	13,767,262		13,767,262
0	2,085,343		2,085,343
0	15,000		15,000
0	433,722		433,722
117,395,698	138,013,421	0	6,813,178,504
21,896,519	381,221	0	△ 13,993,608
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
21,896,519	381,221	0	△ 13,993,608
△ 21,025,843	0		0
870,676	381,221	0	△ 13,993,608
0	270,000		270,000
870,676	111,221	0	△ 14,263,608
67,804,112	582,897,955	0	1,149,119,660
68,674,788	583,009,176	0	1,134,856,052
0	0		9,320,000
0	0		△ 9,283,072
0	0	0	36,928
0	500,000,000	0	538,116,808
0	500,000,000	0	538,153,736
68,674,788	1,083,009,176	0	1,673,009,788

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

購入時の取得価額によっている。なお、償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため適用していない。

(2) 固定資産（リース資産を含む。）の減価償却の方法

定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務見込額に基づき、計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

(5) 受取調査受託金収益の計上基準

調査工事のうち、当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については、工事進行基準を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預 金	150,425	0	0	150,425
投資有価証券	499,849,575	0	0	499,849,575
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	327,286,000	15,954,020	98,270,000	244,970,020
新規事業準備等引当資産	122,090,000	0	0	122,090,000
財政調整引当資産	100,000,000	0	0	100,000,000
調査事業資産取得積立資産	139,575,343	0	139,575,343	0
埋文事業特定費用準備資産	0	2,192,323	0	2,192,323
スポーツ普及振興積立資産	38,116,808	9,320,000	9,283,072	38,153,736
小 計	727,068,151	27,466,343	247,128,415	507,406,079
合 計	1,227,068,151	27,466,343	247,128,415	1,007,406,079

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
預 金	150,425	(150,425)	—	—
投資有価証券	499,849,575	(499,849,575)	—	—
小 計	500,000,000	(500,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	244,970,020	—	—	(244,970,020)
新規事業準備等引当資産	122,090,000	—	(122,090,000)	—
財政調整引当資産	100,000,000	—	(100,000,000)	—
埋文事業特定費用準備資産	2,192,323	—	(2,192,323)	—
スポーツ普及振興積立資産	38,153,736	(38,153,736)	—	—
小 計	507,406,079	(38,153,736)	(224,282,323)	(244,970,020)
合 計	1,007,406,079	(538,153,736)	(224,282,323)	(244,970,020)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額等及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	6,657,000	4,848,747	1,808,253
構 築 物	60,543,000	47,858,997	12,684,003
什 器 備 品	194,975,208	59,727,763	135,247,445
リ ー ス 資 産	4,244,400	848,880	3,395,520
ソ フ ト ウ ェ ア	13,919,484	11,335,087	2,584,397
合 計	280,339,092	124,619,474	155,719,618

5 満期保有目的の債券の内訳、帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債 (1銘柄)	49,969,575	51,480,000	1,510,425
東京都公債 (5銘柄)	449,880,000	456,449,000	6,569,000
合 計	499,849,575	507,929,000	8,079,425

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
自主事業に係る運営費補助金 (交付者：東京都)	0	56,595,305	56,595,305	0	—
運営費補助金 (交付者：東京都)	0	51,223,621	51,223,621	0	—
合 計	0	107,818,926	107,818,926	0	

(注) 上記補助金は単年度経費補助であるため、前期末残高、当期末残高は発生しない。

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
支払負担金計上による振替額	685,260
委託費計上による振替額	8,306,837
支払手数料計上による振替額	290,975
合 計	9,283,072

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	43,187,900	44,746,439	43,187,900	0	44,746,439
退職給付引当金	327,286,000	15,954,020	98,270,000	0	244,970,020

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
スポーツ普及振興積立資産	普通預金 きらぼし銀行東京みらい営業部	スポーツ事業会計の積立資産であり、スポーツ普及振興事業準備資金として管理されている	12,529,025
	普通預金 みずほ銀行公務第一部	スポーツ事業会計の積立資産であり、スポーツ普及振興事業準備資金として管理されている	25,624,711
(3)その他固定資産			
建物	東京体育館健康体力相談室冷暖房設備	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	727,344
	東京体育館サブアリーナカフェ給排水設備外2件	付帯事業会計の運営に使用している	1,080,909
構築物	東京体育館サブアリーナ中庭施設外3件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	12,684,003
什器備品	東京武道館シュレッダー外15件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計・法人会計の運営に使用している	7,284,081
	東京体育館・東京武道館駐車場設備	付帯事業会計の運営に使用している	270,616
	埋蔵文化財センターX線CT装置外66件	公益目的保有財産であり、埋蔵文化財事業会計の運営に使用している	127,692,748
リース資産	会計システム	法人会計の運営に使用している	3,395,520
敷金	東京体育館分室外1件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	57,140,703
ソフトウェア	東京体育館事業予約システム	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	1
	埋蔵文化財センター調査積算システム	公益目的保有財産であり、埋蔵文化財事業会計の運営に使用している	2,584,396
電話加入権	埋蔵文化財センター10件	公益目的保有財産であり、埋蔵文化財事業会計の運営に使用している	758,400
固定資産合計			1,221,024,800
資産合計			3,928,179,146
II負債の部			
1流動負債			
未払金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場 埋蔵文化財センター	スポーツ事業会計・付帯事業会計・法人会計未払金 埋蔵文化財事業会計未払金	626,120,357 1,116,437,368
未払消費税等	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場 埋蔵文化財センター	法人会計未払消費税等	5,080,700
未払法人税等	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場	法人会計未払法人税等	270,000
前受金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場	スポーツ事業会計・付帯事業会計前受金	82,046,654
預り金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場 埋蔵文化財センター	スポーツ事業会計・付帯事業会計・法人会計預り金 埋蔵文化財事業会計預り金	21,389,842 627,706
仮受金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場	スポーツ事業会計・付帯事業会計仮受金	110,084,752
リース債務	会計システム	会計システムリース料	848,880
賞与引当金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・辰巳水泳場 埋蔵文化財センター	全ての事業に従事する職員の賞与の引当金である	17,121,014 27,625,425
流動負債合計			2,007,652,698
2固定負債			
退職給付引当金	東京体育館・埋蔵文化財センター	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	244,970,020
リース債務	会計システム	会計システムリース料	2,546,640
固定負債合計			247,516,660
負債合計			2,255,169,358
正味財産			1,673,009,788

<参考>

キャッシュ・フロー計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前当期一般正味財産増減額	△ 13,993,608	△ 74,492,533	60,498,925
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	10,302,904	5,074,703	5,228,201
② 資産除却費	5,518,698	0	5,518,698
③ 未収金の増減額	179,535,290	△ 4,082,565	183,617,855
④ 前払金の増減額	4,694,896	△ 5,849,946	10,544,842
⑤ 預け金の増減額	△ 218,000	218,000	△ 436,000
⑥ 未払金の増減額	△ 77,168,372	△ 472,244,919	395,076,547
⑦ 未払消費税等の増減額	△ 1,875,800	△ 20,265,100	18,389,300
⑧ 前受金の増減額	△ 26,809,183	△ 49,353,233	22,544,050
⑨ 預り金の増減額	△ 153,732	2,759,291	△ 2,913,023
⑩ 仮受金の増減額	△ 4,039,194	10,031,194	△ 14,070,388
⑪ 賞与引当金の増減額	1,558,539	3,322,862	△ 1,764,323
⑫ 退職給付引当金の増減額	△ 82,315,980	△ 85,678,150	3,362,170
⑬ 指定正味財産からの振替額	△ 9,283,072	△ 7,800,921	△ 1,482,151
小 計	△ 253,006	△ 623,868,784	623,615,778
3 法人税等の支払額	△ 1,308,600	△ 20,489,000	19,180,400
4 指定正味財産増加収入			
受取寄付金	9,320,000	12,703,000	△ 3,383,000
指定正味財産増加収入計	9,320,000	12,703,000	△ 3,383,000
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,235,214	△ 706,147,317	699,912,103
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入			
退職給付引当資産取崩収入	98,270,000	98,510,500	△ 240,500
調査事業資産取得積立資産取崩収入	139,575,343	0	139,575,343
スポーツ普及振興積立資産取崩収入	9,283,072	7,800,921	1,482,151
② 定期預金預入収入	10,000,000	10,000,000	0
投資活動収入計	257,128,415	116,311,421	140,816,994
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	15,954,020	12,832,350	3,121,670
調査事業資産取得積立資産取得支出	0	37,641,451	△ 37,641,451
埋文事業特定費用準備資金取得支出	2,192,323	0	2,192,323
スポーツ普及振興積立資産取得支出	9,320,000	12,703,000	△ 3,383,000
② 定期預金預入支出	10,000,000	10,000,000	0
③ 固定資産取得支出			
什器備品取得支出	0	2,038,392	△ 2,038,392
敷金取得支出	57,126,000	0	57,126,000
投資活動支出計	94,592,343	75,215,193	19,377,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	162,536,072	41,096,228	121,439,844
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
リース債務の返済による支出	848,880	0	848,880
財務活動支出計	848,880	0	848,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 848,880	0	△ 848,880
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	155,451,978	△ 665,051,089	820,503,067
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,269,525,573	1,934,576,662	△ 665,051,089
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,424,977,551	1,269,525,573	155,451,978

(注) 1 本キャッシュ・フロー計算書は、内部で利用するために、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して作成されている。

(注) 2 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(注) 3 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末		当期末	
現金預金勘定	1,279,525,573円	現金預金勘定	1,434,977,551円
預入期間が3か月を超える定期預金	<u>△10,000,000円</u>	預入期間が3か月を超える定期預金	<u>△10,000,000円</u>
現金及び現金同等物	1,269,525,573円	現金及び現金同等物	1,424,977,551円

